



取扱説明書
Automower® Aspire™ R4

本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、内容をしっかりと把握してください。



JA, 日本語

目次

1 安全性	
1.1 安全性の定義.....	3
1.2 一般的な安全注意事項.....	3
1.3 設置の安全注意事項.....	4
1.4 操作のための安全注意事項.....	4
1.5 メンテナンスのための安全注意事項.....	4
1.6 バッテリーの安全.....	4
1.7 本製品の持ち上げと移動.....	4
2 はじめに	
2.1 はじめに.....	6
2.2 製品の概要.....	7
2.3 製品に表記されるシンボルマーク.....	8
2.4 バッテリーのマーク.....	8
2.5 取扱説明書全般.....	8
2.6 キーボード.....	9
2.7 キーボードの LED インジケータ.....	9
3 Installation (設置)	
3.1 はじめに - 設置.....	12
3.2 設置用の主要部品.....	12
3.3 設置準備.....	12
3.4 ワイヤーを設置する前に.....	12
3.5 本製品の設置.....	17
3.6 ペグを使ってワイヤーを所定の位置に固定 する方法.....	19
3.7 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを埋め 込む方法.....	19
3.8 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを延長 する方法.....	19
3.9 本製品設置後の点検.....	20
3.10 Automower® Connect アプリのインストール..	20
3.11 基本設定を行うには.....	20
4 設定	
4.1 スケジュール.....	21
4.2 操作.....	21
4.3 Installation (設置).....	22
4.4 アクセサリー.....	23
4.5 一般.....	23
4.6 安全性.....	23
4.7 Automower® Connect.....	23
4.8 無線ファームウェアのダウンロード (Firmware over the air FOTA).....	23
5 Operation (動作)	
5.1 ON/OFF ボタンの使用.....	24
5.2 本製品の始動方法.....	24
5.3 操作モード.....	24
5.4 本製品の停止方法.....	26
5.5 本製品をオフにする.....	26
5.6 バッテリーの充電.....	26
5.7 刈高調整.....	26
6 メンテナンス	
6.1 はじめに - メンテナンス.....	28
6.2 メンテナンスのスケジュール.....	28
6.3 製品の清掃.....	29
6.4 ブレードの交換.....	30
6.5 バッテリー.....	30
6.6 冬期の保守.....	31
7 トラブルシューティング	
7.1 はじめに - トラブルシューティング.....	32
7.2 故障メッセージ.....	32
7.3 情報と警告メッセージ.....	36
7.4 チャージステーションのインジケータランプ... 37	
7.5 症状.....	38
7.6 ループワイヤーの損傷を発見.....	39
8 搬送、保管、廃棄	
8.1 搬送.....	41
8.2 本製品の保管方法.....	41
8.3 廃棄.....	41
9 主要諸元	
9.1 主要諸元.....	43
9.2 登録商標.....	45
10 保証	
10.1 保証条件.....	46
11 日本市場に適用可能	
11.1 コンプライアンス要件.....	47

1 安全性

1.1 安全性の定義

警告、注意、注記は、取扱説明書の特に重要な部分を示しています。



警告： 取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が負傷したり、死亡したりするか、あるいは付近の人に損傷を与える危険があることを意味します。



注意： 取扱説明書の指示に従わない場合、製品や他の物品、または隣接するエリアに損傷を与える危険があることを意味します。

注記： 特定の状況で必要とされる詳細情報を提供するために使用されます。

1.2 一般的な安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本取扱説明書をよくお読みになり、内容をしっかりと把握したうえで、本製品を使用してください。後で参照できるように保管しておいてください。
- 本機は、身体能力、感覚能力、または精神能力（本製品の安全な取り扱いに影響する可能性がある）が低下した人や子供、または経験や知識のない人による使用を想定していません。ただし、使用者の安全に責任を負う人が本機の使用に関して監督や指導をする場合を除きます。ただし、EU 要件により、本機は 8 才以上の小児、または身体的、知覚的、精神的障害のある方、および経験や知識の浅い方でも、保護者または責任者の監視の下、または本装置の安全な使用に関する説明を受け、起こりうる危険について理解した上で使用することができます。本装置を小児の玩具にしないでください。クリーニングおよびメンテナンスは、保護者による監視のない限り、小児に行わせてはいけません。
- 本製品には、Husqvarna から推奨される装置のみを使用することができます。それ以外の使用は適切ではありません。
- 人（特にお子様）や動物が作業エリアにいるときには、本製品を決して使用しないでください。
- 本製品が公共の場所で動作する場合は、作業エリアに警告標識を設置する必要があります。標識には次のテキストを含める必要があります。警告! ロボット芝刈機! 機械に近づかないでください! お子様を近づけないでください!
- 完全に停止するまでブレードディスクなどの稼働する危険な部品には触らないでください。
- 詰まりを解消する前、メンテナンスまたは検査を行う前や、製品が異常に振動し始めた場合は、本製品をオフにしてください。本製品を再起動する前に、損傷がないことを点検してください。損傷している場合は、本製品を使用しないでください。
- 負傷や事故が発生した場合は、医師にご相談ください。
- 電源ケーブルと延長ケーブルを作業エリアに置かないでください。ケーブルが損傷するおそれがあります。
- 損傷したケーブルやプラグを接続したり、電源から切断する前に損傷したケーブルに触れたりしないでください。動作中にケーブルが損傷した場合は、電源コンセントからプラグを外します。消耗または損傷したケーブルを使用すると、感電のリスクが高くなります。損傷したケーブルはサービス担当者が交換する必要があります。
- 電源をコンセントに接続する場合は、トリップ電流が最大 30mA の漏電遮断器 (RCD) を使用してください。
- 本製品は付属のチャージステーションでのみ充電してください。バッテリーを安全に廃棄する方法については、を参照してください **廃棄 41** ページ。誤った使用は、感電、過熱またはバッテリーから腐食液が漏れ出る原因になる可能性があります。電源コンセントからプラグを外します。消耗または損傷したケーブルを使用すると、感電のリスクが高くなります。損傷したケーブルはサービス担当者が交換する必要があります。
- 雷雨の危険性がある場合は、Husqvarna では、電気部品の損傷を防ぐためにチャージステーションへの電源とすべての配線の接続を外すことをお勧めします。雷雨の危険がなくなった場合に電源装置とすべての配線を再度接続します。すべての配線が正しく接続されていることが重要です。
- 保守手順に従い、必要に応じて Husqvarna 純正スベアパーツを使用してください。参照： **メンテナンス 28** ページ。
- 質量、寸法、騒音排出の値などの主要諸元については、 **主要諸元 43** ページを参照してください。
- 作業者は、他の人またはその所有物に発生した事故または危険の責任を負います。
- 本製品の操作、メンテナンス、および修理は、必ずその特性と安全基準に完全に精通している担当者のみが行ってください。
- 本製品の設計に変更を加えてはいけません。

- 電氣的安全性に関する各国の規制に従ってください。
- Husqvarna は、リモコンや無線送信機などの他の無線システムと本製品の間の互換性を完全には保証していません。
- 動作および保管の温度範囲は 0~50 °C/32~122 °F です。充電の温度範囲は 0~45 °C/32~113 °F です。温度が高すぎると、本製品が損傷する可能性があります。

1.3 設置の安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- チャージステーションおよびアクセサリは、可燃物から 60 cm (24 インチ) 以内の場所には設置しないでください。不具合が生じた場合は、チャージステーションや電源装置が過熱して火災が発生する可能性があります。
- 電源装置は、水に浸る危険性のある高さに置かないでください。電源装置は、地面に置かないでください。
- 電源装置は、密閉しないでください。結露水が電源装置に悪影響を与え、感電の危険性を高めるおそれがあります。
- 米国/カナダに適用。電源が屋外に設置されている場合: 感電のおそれがあります。必ずアタッチメントプラグキャップを抜き差しできる耐候性のエンクロージャを備えたクラス A GFCI レセプタクル (RCD) に取り付けてください。
- 水が溜まるおそれがある場所に、チャージステーションを設置しないでください。

1.4 操作のための安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 回転しているブレードに手や足を近づけないでください。電源がオンの場合は、本製品の近くまたは下に手や足を近づけないでください。
- 人、特に子供や、動物などが作業エリアにいるときは、駐車モードを使用するか、本製品をオフにしてください。参照：*Park until further notice* (さらなる通知があるまで駐車) 25 ページ。Husqvarna は、作業エリアにアクティビティがない場合に動作するように本製品を設定することをお勧めします。本製品は、夜に作業エリアでハリネズミなどの動物を負傷させる原因となることがあります。参照：*駐車* 25 ページ。
- 芝生に石、枝、工具、おもちゃなどの異物がないことを確認します。ブレードは障害物に当たると損傷する可能性があります。
- 本製品がオンに設定されている場合は、持ち上げたり移動したりしないでください。

- 本製品が人や動物に衝突しないようにしてください。人や動物が本製品の進行方向に存在する場合、直ちに本製品を停止してください。参照：*本製品の停止方法* 26 ページ。
- 本製品やチャージステーション上に物を置かないでください。
- **[STOP]** ボタンが作動しない場合は、本製品を使用しないでください。
- 使用中でないときは、本製品をオフに設定してください。正しい PIN コードを入力した場合のみ本製品を起動できます。
- ポップアップスプリングローと同時に本製品を使用しないでください。スケジュール機能を使用して、本製品とポップアップスプリングローが同時に動作しないようにしてください。参照：*駐車* 25 ページ。
- 作業エリアに水が溜まっている場合は、本製品を動作させないでください。例えば、大雨で水たまりができている場合などです。

1.5 メンテナンスのための安全注意事項



警告： 本製品のメンテナンスを行う前に、以下の警告指示を読んでください。

- 製品のメンテナンスを行う場合に **OFF** に設定します。
- 本製品の清掃には高圧水を使用しないでください。本製品の清掃には溶剤を使用しないでください。
- チャージステーションの清掃またはメンテナンスを行う前に、チャージステーションのプラグを抜いてください。

1.6 バッテリーの安全



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- リチウムイオンバッテリーは、分解したり、短絡したり、水、火、または高温にさらされると、爆発したり火災を起こす原因となります。慎重に取り扱ってください。バッテリーを分解したり、開けたり、電氣的/機械的な不正使用をしないでください。直射日光にさらされるような環境に保管しないでください。

1.7 本製品の持ち上げと移動



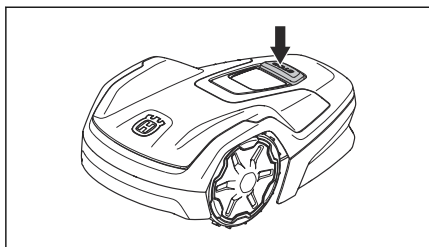
警告： 本製品を持ち上げる前に、オフに設定する必要があります。ON/OFF ボタンのインジケータが消えている場合、本製品は無効になっています。



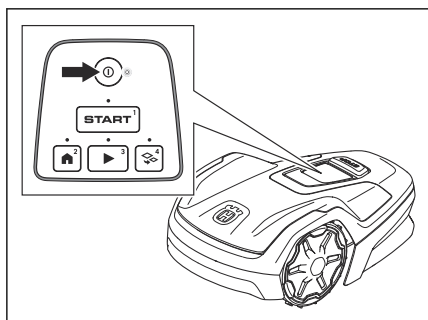
注意：チャージステーションに駐車しているときは、本製品を持ち上げないでください。チャージステーションや本製品が損傷するおそれがあります。**STOP** ボタンを押し、本製品をチャージステーションから引き出してから、本製品を持ち上げてください。

本製品を作業エリアから、または作業エリア内で安全に移動させるには：

1. **STOP** ボタンを押して、本製品を停止します。



2. **ON/OFF** ボタンを 3 秒間押して、本製品をオフにします。



3. 本製品が無効化されていることを確認します。本製品が無効になっている場合、**ON/OFF** ボタンのインジケータは消灯しています。参照：キーパッドの **LED インジケータ 9** ページ。
4. 本製品を持ち運ぶ際は、ハンドルを持ち、ブレードディスクを身体に近づけないでください。



2 はじめに

2.1 はじめに

製造番号：

製品番号

PIN コード：

製造番号および製品番号は本製品の銘板と梱包箱に記載されています。

- www.husqvarna.com で製品を登録してください。製品の製造番号、製品番号、購入日を入力して、製品を登録します。

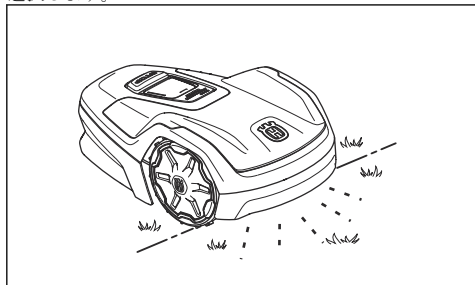
2.1.1 サポート

本製品のサポートについては、Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

2.1.2 製品の説明

注記： Husqvarna は、製品の外観や機能を定期的に改良しています。参照：サポート 6 ページ。

本製品は、ロボット芝刈機です。本製品にはバッテリー電源が搭載されており、芝を自動的に刈り込みます。芝刈りと充電を常に交互に繰り返します。無作為の動作パターンにより、芝を均等に刈るとともに、摩耗を少なくします。境界ワイヤーとガイドワイヤーで、作業エリア内における製品の動きを制御します。本製品が境界ワイヤーに近づくとき、センサーがワイヤーを感知します。本製品の前部は、旋回する前に必ず特定の距離だけ境界ワイヤーを通過します。本製品が障害物に衝突したり、境界ワイヤーに接近したりすると、本製品は新しい方向を選択します。



Automower® Connect または本製品のキーパッド上のボタンで、動作設定を選択できます。アプリと LED ステータスインジケータに、本製品の動作モードが表示されません。

本製品は最大性能により、1日あたりの最大芝刈り時間が規定されています。芝刈り、検索、充電を含む本製品の運転時間は、1日あたり約 11~12 時間です。

2.1.2.1 芝刈り方法

頻繁に芝刈りを行うことで、芝の質を改善し、肥料の使用量を減らすことができます。芝を集草する必要はありません。

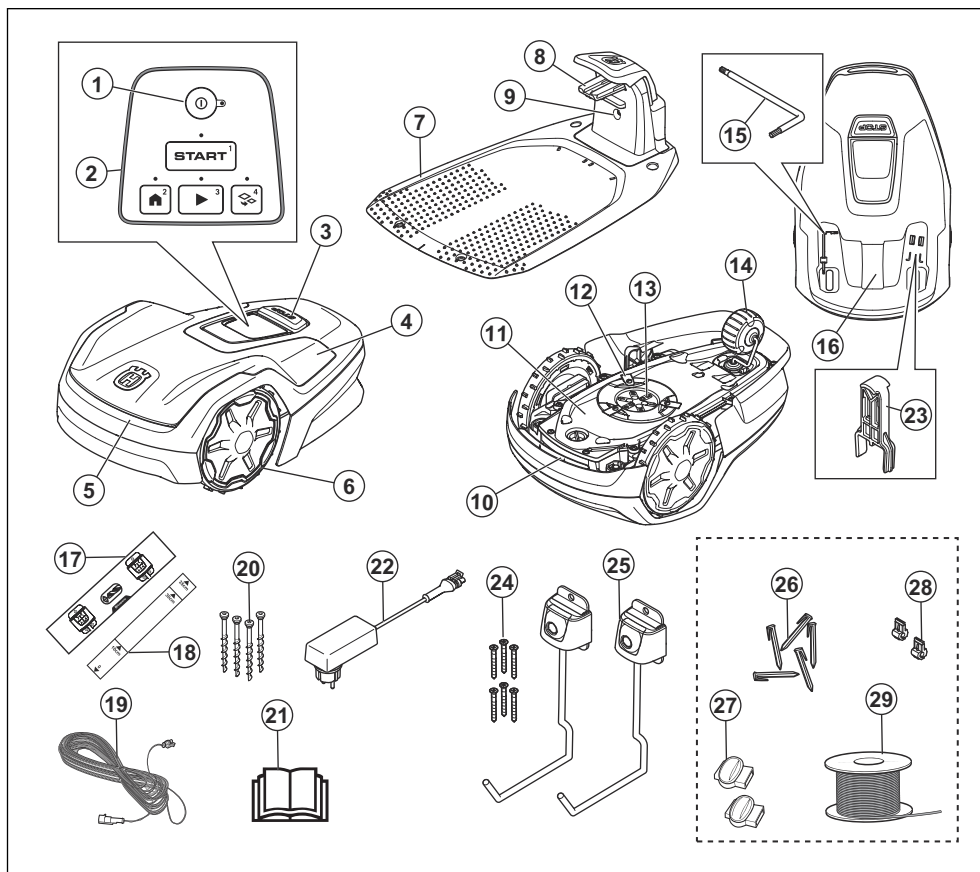
2.1.2.2 チャージステーションの探索

本製品は、バッテリー残量が少なくなるまで動作したあと、チャージステーションへの移動を開始します。ガイドワイヤーとは、チャージステーションから奥に向かって、作業エリアまたは狭い小道を通って敷設されるワイヤーです。ガイドワイヤーは境界ワイヤーと接続しているため、本製品はチャージステーションをすばやく簡単に見つけることができます。

2.1.2.3 Automower® Connect

Automower® Connect は、動作設定をリモートで選択できる、モバイルデバイス用の無料アプリです。本製品は、Bluetooth® および Wi-Fi を介してアプリに接続できます。本製品の近くにいるときは、Bluetooth® を介して接続できます。本製品が Wi-Fi ネットワークに接続されている場合は、どこからでも制御できます。参照：Automower® Connect アプリのインストール 20 ページ。

2.2 製品の概要



- | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. ON/OFF ボタン 2. キーパッド 3. STOP (停止) ボタン 4. 上部カバー 5. 本体 6. フロントホイール 7. チャージステーション 8. 接触板 9. チャージステーション、境界ワイヤー、ガイドワイヤーの動作確認用 LED 10. ハンドル | <ol style="list-style-type: none"> 11. 電子部品、バッテリー、モーターが搭載されたシャーシボックス 12. カuttingシステム 13. ブレードディスク 14. リヤホイール 15. 刈高調整用トルクスレンチ¹ 16. 銘板² 17. ドリル用テンプレート (ドリル用テンプレートは本製品の Karton から取り外します) 18. 境界ワイヤー設置用測定ゲージ (測定ゲージは本製品の Karton から取り外します) 19. 低電圧ケーブル 20. チャージステーション取り付けネジ 21. 充電ステーション 22. 充電ケーブル 23. 充電ステーション取り付けネジ 24. ドリル用ネジ 25. ドリル用ネジ 26. ドリル用ネジ 27. ドリル用ネジ 28. ドリル用ネジ 29. ドリル用ネジ |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

¹ 上部カバーの下にあります。アクセスするには、上部カバーを取り外す必要があります。

² 上部カバーの下にあります。アクセスするには、上部カバーを取り外す必要があります。

21. 取扱説明書およびクイックガイド
22. 電源³
23. メンテナンスツール⁴
24. 収納フック取り付け用ネジ
25. 収納フック
26. ペグ⁵
27. ループワイヤーのカブラー⁶
28. ループワイヤーのコネクター⁷
29. 境界ワイヤーとガイドワイヤー用のループワイヤー⁸



本製品は、通常のご家庭ゴミとして処分することはできません。国の規制に従い、地域のリサイクルシステムを使用してください。



シャーシには、静電放電 (ESD) に弱い部品が含まれています。シャーシは、必ず認定されたサービス技術者のみが開閉および密閉してください。シールが破損している場合、保証は適用されません。



低電圧ケーブルを改造しないでください。
低電圧ケーブルの近くでヘッジトリマーや刈払機を使用しないでください。

2.3 製品に表記されるシンボルマーク

これらのシンボルマークは本製品上に表示されています。内容をご確認ください。



警告：本製品を操作する前に取扱説明書をお読みください。



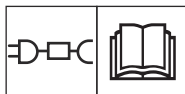
警告：メンテナンスの前、または本製品を持ち上げる前に、本製品の電源をオフにしてください。



警告：操作中は、本製品から安全な距離を保ってください。本製品の回転しているブレードに手や足を近づけないでください。



警告：本製品の上に座らないでください。手や足を本製品に近づけたり、本製品の下に入れたりしないでください。



このシンボルの横にある銘板に記載されている、取り外し可能な電源装置を使用してください。

2.4 バッテリーのマーク



警告：リチウムイオンバッテリーは、分解したり、短絡したり、手荒に扱ったりすると、爆発したり火災を起こす原因となります。水、火、高温にさらさないでください。



取扱説明書をお読みください。



バッテリーを火の中に廃棄したり、熱源にさらしたりしないでください。



バッテリーは水の中に入れてください。



本製品は EU 指令適合製品です。



本製品は UK 指令適合製品です。

2.5 取扱説明書全般

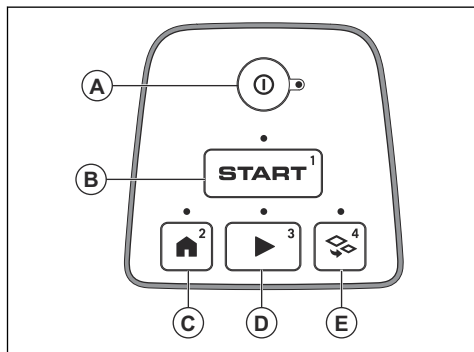
本取扱説明書では、読みやすいように次の表記規則を使用しています。

- ³ 外観は市場によって異なる場合があります。
- ⁴ 上部カバーの下にあります。アクセスするには、上部カバーを取り外す必要があります。
- ⁵ 設置キットにのみ同梱されています。
- ⁶ 設置キットにのみ同梱されています。
- ⁷ 設置キットにのみ同梱されています。
- ⁸ 設置キットにのみ同梱されています。

- 斜体で記載されたテキストは、ディスプレイに表示されるテキストであるか、取扱説明書の別のセクションを参照していることを示しています。
- **太字**のテキストは、本製品のボタンを示します。
- **ON/OFF** ボタン (A) を使用して、本製品をオンまたはオフに設定します。
- 本製品の操作を開始するには、**[Start (始動)]** ボタンを使用します。
- **[Park (駐車)]** ボタン (C) は、本製品をチャージステーションに移動するときに使用します。
- **[Play (実行)]** ボタン (D) は、メインエリアの芝刈りに使用します。
- **[Secondary area (セカンダリエリア)]** ボタン (E) は、セカンダリエリアの芝刈りに使用します。

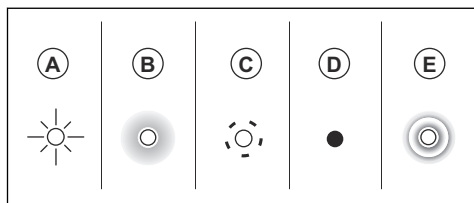
2.6 キーパッド

本製品のキーパッドを使用して、PIN コードを入力したり、製品の操作モードを選択したりします。参照： *操作モード 24* ページ。点滅しているキーパッドのボタンは、選択可能な製品で使用可能な動作モードです。動作モードを選択する前に、製品の PIN コードを入力する必要があります。PIN コードを入力するには、番号の付いたボタンを使用します。参照： *PIN コード 23* ページ。

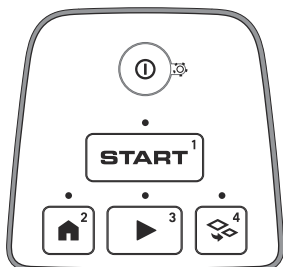


2.7 キーパッドの LED インジケータ

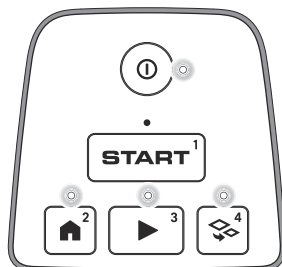
キーパッドの LED インジケータは本製品のステータスを示します。LED インジケータには、すばやい点滅 (A)、点灯 (B)、ゆっくり点滅 (C)、消灯 (D)、脈動 (E) の 5 つのライトモードがあります。



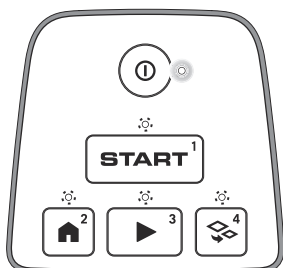
待機：本製品を3分間使用しないと、スタンバイモードに設定されます。



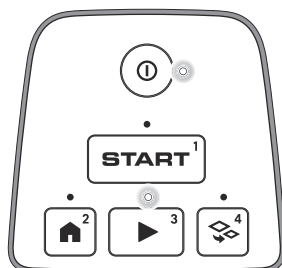
アイドル：動作モードを選択するまで、本製品の電源はオンで、アイドルモードになります。



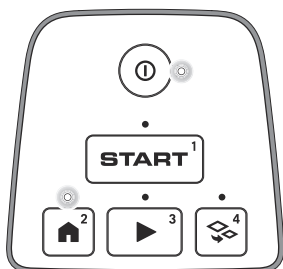
PIN コードの待機中



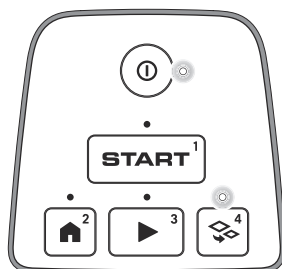
[Schedule (スケジュール)] または [Override Schedule (スケジュールのオーバーライド)] の設定により、指定どおりにメインエリアを刈り込み。



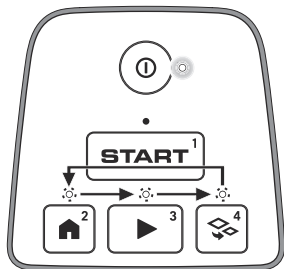
[Next schedule (次のスケジュール)] まで、または [Further notice (さらなる通知)] があるまで駐車。



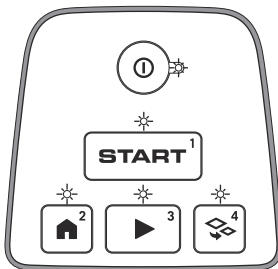
[Secondary area (セカンダリエリア)] を刈り込み。



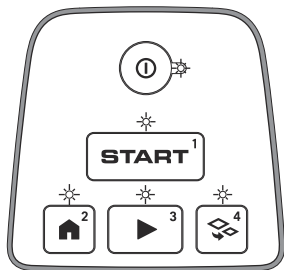
ファームウェアをインストール中。



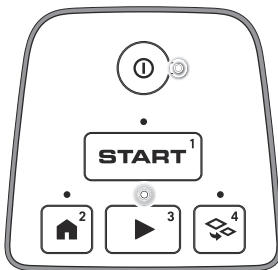
エラーです。LED インジケータが連続的に点滅します。



ファームウェアのインストールエラー。LED インジケータがすばやく 4 回点滅し、停止してから再びすばやく 4 回点滅します。



充電中



3 Installation (設置)

3.1 はじめに - 設置

設置の詳細と使用方法のビデオは、www.husqvarna.comを参照してください。

製品をインストールする前にファームウェアをアップデートして、本製品のファームウェアが最新であることを確認することをお勧めします。無線ファームウェアのダウンロード(*Firmware over the air FOTA*)[23](#) ページを参照してください。



警告： 本製品を設置する前に、安全に関する章を読んで理解してください。



注意： 純正のスペアパーツと設置器具を使用してください。

3.2 設置用の主要部品

設置には次の部品が必要です。

- 芝生を自動的に刈るロボット芝刈機。
- チャージステーションには、次の 3 種類の機能があります。
 - 境界ワイヤーに沿って制御信号を送信します。
 - ガイドワイヤーに沿って制御信号を送信することで、本製品がガイドワイヤーに従って庭の特定の離れた場所まで移動し、そこからチャージステーションまで戻る道のりがわかるようにします。
 - 本製品を充電します。
- チャージステーションおよび 100V~240V コンセントと接続した電源。
- ループワイヤーは、作業エリアや、物体や樹木の周りなど、本製品が避けるべき場所に敷設します。ループワイヤーは、境界ワイヤーとガイドワイヤーの両方に使用されます。

3.3 設置準備

設置を開始する前に、「設置」の章をお読みください。正常に動作するよう、慎重に本製品の設置準備を行ってください。

- 作業エリアの設置図を作成し、それにすべての障害物を含めておきます。これにより、チャージステーション、境界ワイヤー、ガイドワイヤー位置の検討が容易になります。
- チャージステーション、境界ワイヤー、ガイドワイヤーの設置場所を、この設置図に記入します。
- ガイドワイヤーを境界ワイヤーに接続する場所を設置図に記入します。参照：[ガイドワイヤーを取り付ける方法 18](#) ページ。

- 芝生の穴を埋めて地面を水平にします。



注意： 芝生内に水が入っている穴があると、本製品が損傷するおそれがあります。

- 本製品がチャージステーション内にあるときは、Wi-Fi 通信が可能にしてください。参照：[無線ファームウェアのダウンロード\(Firmware over the air FOTA\)](#)[23](#) ページ。

注記： 新しいファームウェアは、製品がチャージステーション内にある場合にのみダウンロードされます。

- Automower® Connect アプリをリモートで使用する場合は、ネットワークエリアが Wi-Fi の範囲内であることを確認してください。参照：[Automower® Connect 6](#) ページ。

注記： 作業エリアを Wi-Fi の範囲内にすることをお勧めします。Wi-Fi の範囲内であれば、Automower® Connect アプリを使用して、本製品の制御や設定をリモートで行うことができます。本製品が Wi-Fi の範囲内にある場合、本製品は自動的に Wi-Fi に接続されます。

- 本製品を設置する前に、芝を刈ってください。このとき、芝は 4 cm / 1.6 インチ以下にする必要があります。

注記： 設置後の最初の数週間は、本製品が芝を刈るときに聞こえる騒音レベルが通常よりも高くなる可能性があります。しばらくすると、騒音レベルは下がります。

3.4 ワイヤーを設置する前に

ワイヤーの設置には、ペグを使用するか、または地中に埋めるか、どちらかの方法を選択することができます。同じ作業エリア内で、2 種類の方法を使用することもできます。

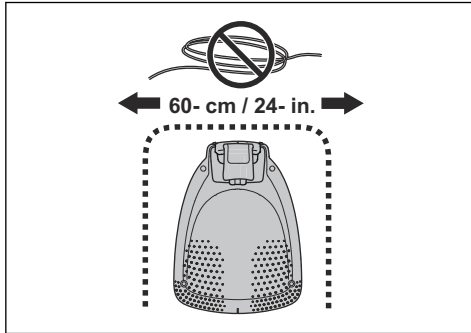


注意： 作業エリアでデサッチャーを使用する場合は、境界ワイヤーとガイドワイヤーの損傷を避けるためにワイヤーを地下に埋設してください。

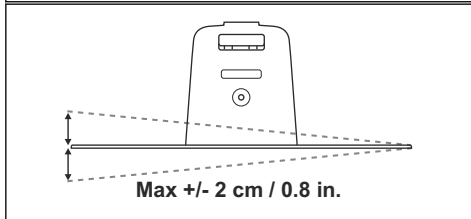
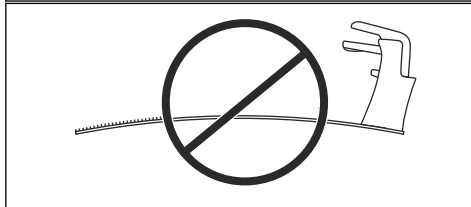
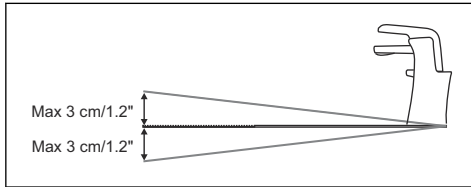
3.4.1 チャージステーションの設置場所について

- チャージステーションの前には、2 m / 6.6 フィート以上の空きスペースを確保してください。参照：[ガイドワイヤーの敷設場所の検証 16](#) ページ。

- チャージステーション中央から左右に 30 cm / 12 インチ以上の空きスペースを確保してください。

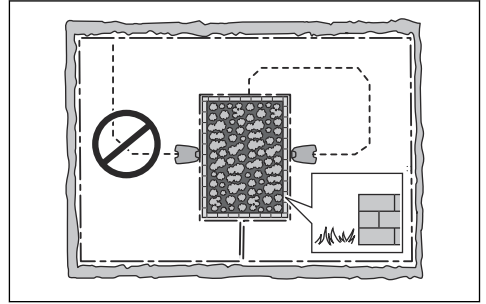


- チャージステーションは、電源コンセントの近くに設置してください。
- チャージステーションは、平らな場所に設置してください。
- チャージステーションのベースプレートを曲げないでください。



- 作業エリアが急勾配の斜面により 2 つのセクションに分割されている場合は、低い方のセクションにチャージステーションを設置することをお勧めします。
- チャージステーションは、日光から保護されている場所に設置してください。
- 新しいファームウェアをダウンロードするために、チャージステーションを Wi-Fi の範囲内に設置してください。参照：無線ファームウェアのダウンロード(Firmware over the air FOTA)23 ページ。

- チャージステーションをアイランドに設置する場合は、ガイドワイヤーをアイランドに接続してください。参照：芝刈り方法 6 ページ。



3.4.2 電源装置の取り付け場所について



警告： 低電圧ケーブルを切断したり延長したりしないでください。感電の危険があります。



注意： 本製品のブレードが低電圧ケーブルを切断しないようにしてください。



注意： 低電圧ケーブルをコイル内やチャージステーションプレートの下に置かないでください。コイルはチャージステーションからの信号との干渉を引き起こします。



- 電源装置は、屋根があり、日光や雨から保護されている場所に取り付けてください。
- 電源装置は、適切な換気のある場所に設置してください。
- 電源装置を電源コンセントに接続する場合は、トリップ電流が 30 mA 以下の漏電遮断器 (RCD) を使用してください。

さまざまな長さの低電圧ケーブルが、アクセサリとして用意されています。

3.4.3 境界ワイヤーの敷設場所について



注意： 境界ワイヤーと水域、斜面、崖、または公道の間に 15 cm/6 インチ以上の保護壁を設ける必要があります。これは本製品の損傷を防ぐためです。



注意： 本製品は、砂利の上では使用しないでください。



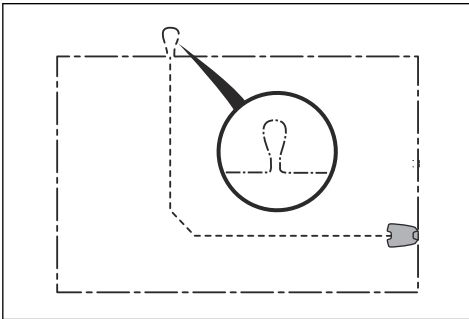
注意： 境界ワイヤーを取り付けるときに、ワイヤーを鋭角や直角に曲げず、緩やかに曲げてください。



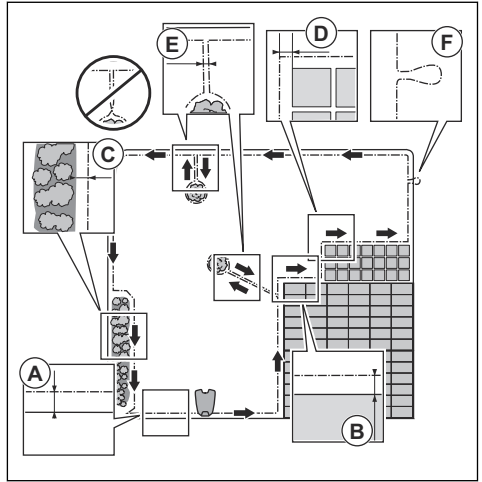
注意： 動作時に異音が発生しないようにするには、樹木や根、石などの障害物をすべて取り除いておいてください。

境界ワイヤーは作業エリアをひと続きに囲むように敷設する必要があります。本製品が境界ワイヤーに近づいたことをセンサーが感知すると、本製品は別の方向を選択します。作業エリアのすべての部分は境界ワイヤーから 15 m/50 フィート以内でなければなりません。

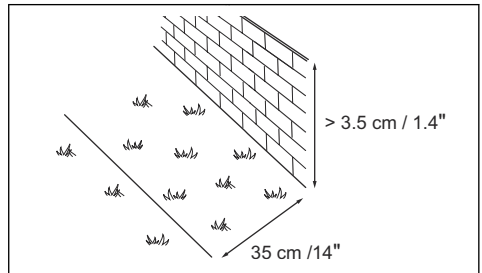
ガイドワイヤーと境界ワイヤーの接続を容易にするため、ガイドワイヤーを接続する場所にアイレットを設置することをお勧めします。境界ワイヤーの約 20 cm / 8 インチにアイレットを設置します。



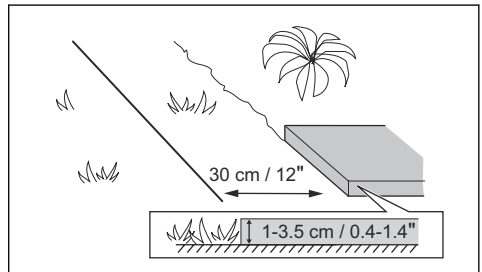
注記： 境界ワイヤーとガイドワイヤーを敷設する前に、作業エリアの設置図を作成してください。



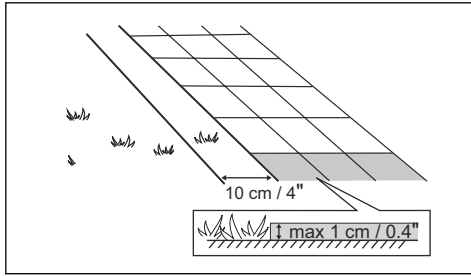
- 境界ワイヤーを作業エリア全体 (A) の周囲に敷設します。境界ワイヤーと各障害物との距離を調整します。
- 高さが 3.5 cm / 1.4 より高い物体からは、境界ワイヤーを 35 cm / 14 インチ (B) 離してください。



- 高さが 1-3.5 cm / 0.4-1.4 の物体からは、境界ワイヤーを 30 cm / 12 インチ (C) 離してください。



- 高さが 1 cm / 0.4 より低い物体からは、境界ワイヤーを 10 cm / 4 インチ (D) 離してください。



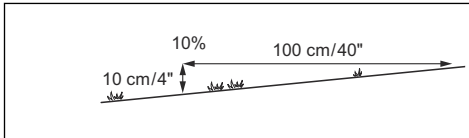
- 芝生と同じ高さの舗装石道がある場合は、境界ワイヤーを舗装石の下に敷設してください。

注記： 舗装石の幅が 30 cm / 12 インチ以上ある場合に、舗装石に隣接する芝をすべて刈るには、*Drive Past Wire* (ワイヤーを通過) 機能に工場出荷時の設定を使用してください。参照：ワイヤーを通過 22 ページ。

- アイランドを作る場合は、アイランドへ往復する境界ワイヤー 2 本を近い位置 (E) に敷設してください。この 2 本のワイヤーは、同じベグに入れてください。参照：アイランドを作る方法 15 ページ。
- ガイドワイヤーを境界ワイヤーに接続する場所に、アレット (F) を作成します。

3.4.3.1 境界ワイヤーを斜面に設置する方法

本製品は 25% 斜面でも動作します。急すぎる斜面は、境界ワイヤーで隔離する必要があります。勾配 (%) は、垂直高さを水平距離で割った値として計算されます。例: 10 cm / 100 cm = 10%。



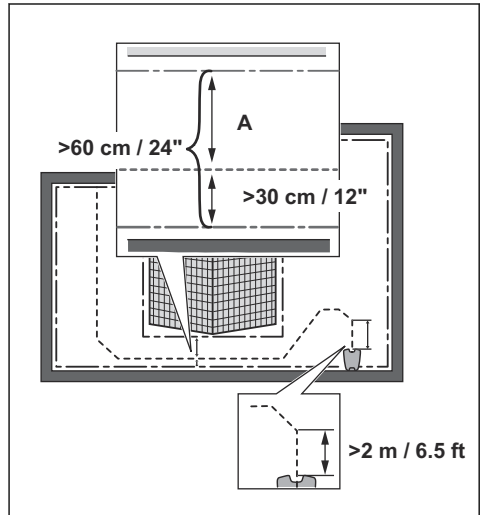
- 作業エリア内の 25% 以上の勾配は、周囲に境界ワイヤーを設置して隔離する必要があります。
- 芝生の外側の勾配が 10% を超える場合は、縁から 20 cm (8 インチ) (A) の位置に境界ワイヤーを設置します。
- 公共の道路に隣接する斜面的場合は、斜面の外縁に 15 cm / 6 インチ以上の保護壁を設置してください。壁またはフェンスを保護壁として使用することができます。

3.4.3.2 経路

経路とは、2 つの作業エリアを接続する、両側に境界ワイヤーが設けられたセクションです。経路の両側の境界ワイヤーの距離は 60 cm / 24 インチ以上空ける必要があります。

注記： 経路の幅が 2 m / 6.5 フィート未満の場合は、その経路内にガイドワイヤーを通してください。

ガイドワイヤーと境界ワイヤーは、30 cm / 12 インチ以上空けることを推奨します。本製品は、常にチャージステーションに向かって左側のガイドワイヤーに沿って移動します。ガイドワイヤーの左側 (A) にできるだけ多くの空きスペースを設けてください。



3.4.3.3 アイランドを作る方法



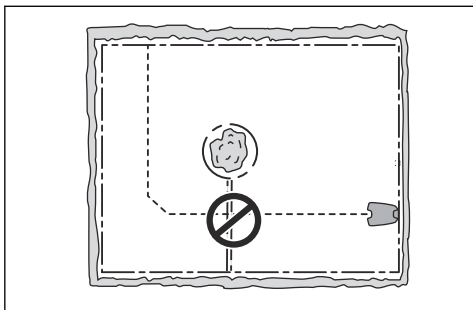
注意： 境界ワイヤー同士を交差させないでください。2 本の境界ワイヤーは平行でなければなりません。



注意： ガイドワイヤーと境界ワイヤーを交差させないでください。



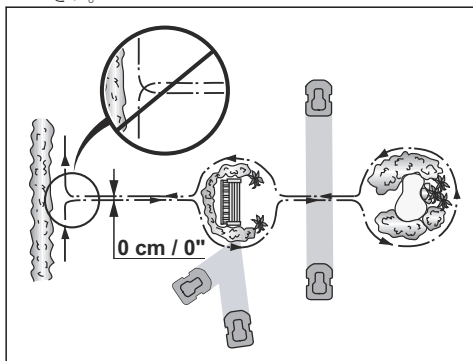
注意： 高さ 15 cm / 5.9 インチ未満の障害物を隔離するか、取り除いてください。石、木、木の根など、わずかに傾斜している障害物を隔離するか、取り除いてください。これは本製品のブレードの損傷を防ぐためです。



アイランドを作るには、境界ワイヤーで作業エリアの一部を隔離します。作業エリア内のすべての障害物を隔離することをお勧めします。

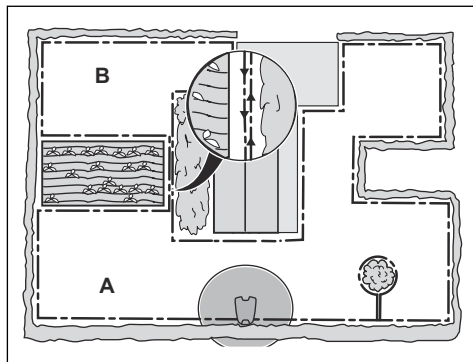
高さ 15 cm/5.9 インチ以上の木や茂みなど、一部の障害物は衝突に耐えます。本製品はこのような障害物に衝突して新しい方向を選択します。

- 障害物の周りに境界ワイヤーを敷設して、アイランドを作ります。
- アイランドへ往復する境界ワイヤー 2 本は、互いに近づけて設置してください。これにより、本製品はワイヤーを横断します。
- この 2 本の境界ワイヤーは、同じペグに入れてください。



3.4.3.4 セカンダリエリアを作成する方法

作業エリアに、経路でつながっていない 2 つのエリアがある場合は、セカンダリエリア (B) を作成します。チャージステーションのある作業エリアが、メインエリア (A) です。



注記： メインエリアとセカンダリエリア間は、本製品を手動で移動させる必要があります。

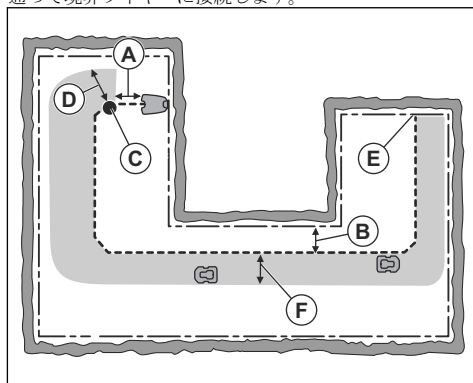
- 境界ワイヤーをセカンダリエリア (B) の周りに敷設して、アイランドを作ります。アイランドを作る方法 15 ページを参照してください。

注記： 境界ワイヤーは作業エリア全体 (A + B) をひとつのループとして囲むように敷設する必要があります。

注記： セカンダリエリアで芝を刈る場合は、*[Secondary area (セカンダリエリア)]* モードを選択する必要があります。セカンダリエリア 24 ページを参照してください。

3.4.4 ガイドワイヤーの敷設場所の検証

チャージステーションのガイドワイヤーは作業エリアを通して境界ワイヤーに接続します。

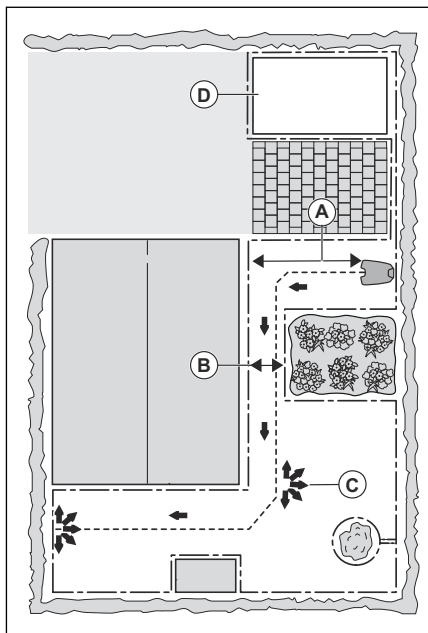
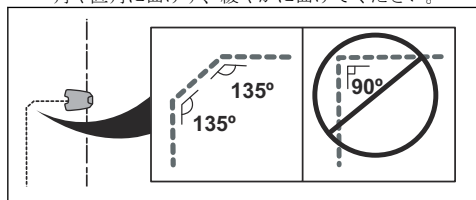


- チャージステーション (A) の前から最低 1 m / 3.3 フィート空けて、ガイドワイヤーをまっすぐに敷設します。

- ガイドワイヤーは、境界ワイヤー (B) から 30 cm / 1 フィート以上離してください。
- スタート地点 (C)。参照：スタート地点の設定 22 ページ。
- 最小距離 60 cm / 2 フィート (始点から境界ワイヤー (D) への垂直線)。参照：ザゴート 6 ページ。
- ガイドワイヤーと境界ワイヤー (E) の接続点です。
- ガイド経路 (F)。本製品は、チャージステーションを正面から見た場合、常にガイド用ワイヤーの左側を走ります。ガイドワイヤーの左側にできるだけ多くの空きスペースを設けてください。ガイド経路は最大 1.2 m / フィート 4 です。

注記： 本製品は常にガイド経路を走行しますが、ガイドワイヤーまでの距離は変わります。

- ガイドワイヤーを取り付けるときは、ワイヤーを鋭角や直角に曲げず、緩やかに曲げてください。



3.4.5 作業エリアの例

- チャージステーションが狭いエリア (A) に設置されている場合は、チャージステーションの前から境界ワイヤーまでの距離が 2 m / 6.6 フィート以上あることを確認してください。
- 作業エリアにガイドワイヤーを設置していない経路 (B) がある場合は、境界ワイヤーの距離を 2 m / 6.5 フィート以上空けます。経路にガイドワイヤーが設置されている場合は、境界ワイヤーの距離を 60 cm / 24 インチ以上空けます。
- 狭い通路 (B) でつながったエリアが作業エリアにある場合は、最初はガイドワイヤーに沿い、一定の距離 (C) を通過したらガイドワイヤーから離れるように本製品を設定できます。設定は芝生範囲とシステムチェック経路刈り 22 ページで変更できます。
- 作業領域にセカンダリエリア (D) が含まれている場合は、セカンダリエリア 24 ページを参照してください。本製品をセカンダリエリアに置き、[Secondary area (セカンダリエリア)] モードを選択します。

3.5 本製品の設置

3.5.1 設置ツール

- ハンマー／プラスチックハンマー：杭を簡単に地面に打ち込むことができます。
- エッジカッター／まっすぐな鋏：境界ワイヤーを埋設します。
- コンビネーションプライヤー：境界ワイヤーを切断し、コネクターを圧着します。
- アジャスタブルプライヤー：カブラーを圧着します。

3.5.2 チャージステーションを設置する方法



注意： チャージステーションのプレートに新しく穴を開けないでください。



注意： チャージステーションのベースプレートに足を乗せないでください。



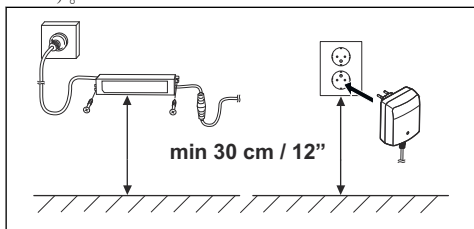
警告： 低電圧ケーブルと電源装置を接続する前に、プラグが清潔で乾燥していることを確認してください。

電源を接続する場合は、漏電遮断器 (RCD) に接続されたコンセントのみを使用してください。

1. チャージステーションに関する指示を読み、理解してください。参照：チャージステーションの設置場所について 12 ページ。
2. 選択した場所にチャージステーションを置きます。

注記： ガイドワイヤーを取り付けるまで、ネジを使用してチャージステーションを地面に設置しないでください。参照：ガイドワイヤーを取り付ける方法 18 ページ。

3. 低電圧ケーブルをチャージステーションに接続します。
4. 電源装置を 30 cm / 12 インチ以上の高さに置きます。



5. 電源装置を 100~240V の電源コンセントに接続します。

注記： 境界ワイヤーやガイドワイヤーを敷設中に、本製品をチャージステーションに駐車して充電することができます。

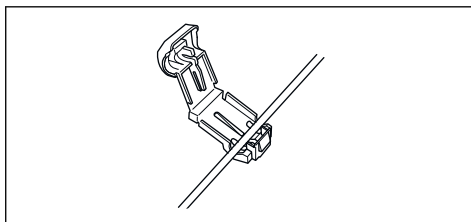
6. ケーブルをペグで地面に固定するか、または地中に埋めます。参照：ペグを使ってワイヤーを所定の位置に固定する方法 19 ページまたは境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを埋め込む方法 19 ページ。
7. 境界ワイヤーとガイドワイヤーの敷設が完了したら、ワイヤーをチャージステーションに接続します。参照：境界ワイヤーを取り付ける方法 18 ページおよびガイドワイヤーを取り付ける方法 18 ページ。
8. ガイドワイヤーを取り付けた後、付属のネジを使用してチャージステーションを地面に設置します。参照：操作のための安全注意事項 4 ページ。

3.5.3 境界ワイヤーを取り付ける方法

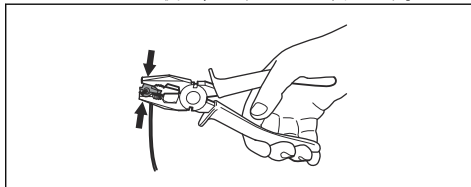


注意： 余ったワイヤーをコイル内に入れないでください。コイルが本製品に対する干渉を起こす場合があります。

1. 作業エリア全体の周囲に境界ワイヤーを設置します。この設置は、チャージステーションの後ろ側から始め、そこで終了するようにしてください。
2. コネクタを開き、境界ワイヤーをコネクタのグリップ内に配置します。



3. プライヤーを使い、コネクタを閉じます。



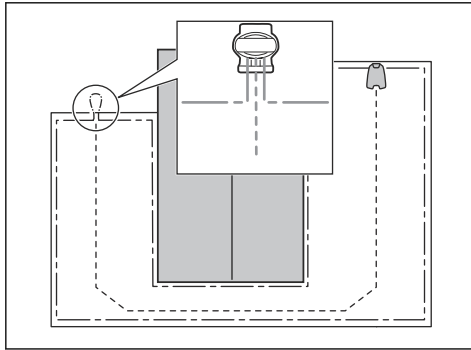
4. この境界ワイヤーを、それぞれのコネクタの 1-2 cm / 0.4-0.8 インチ上で切断します。
5. 右側のコネクタを、チャージステーションの「R」というマークの付いた金属ピンに接続します。
6. 左側のコネクタを、チャージステーションの「L」というマークの付いた金属ピンに接続します。

3.5.4 ガイドワイヤーを取り付ける方法



注意： ツインケーブルや絶縁テープで絶縁されたネジ式端子ブロックは、満足のいく接合ではありません。土に含まれる湿気でワイヤーが酸化し、一定期間が経過すると回路が損傷します。

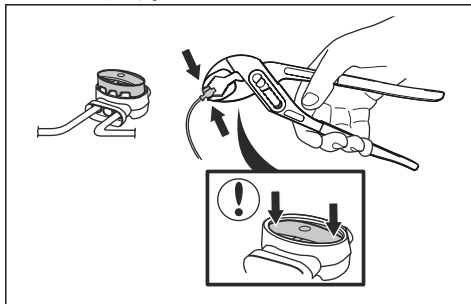
1. コネクタを開き、ワイヤーをコネクタのグリップ内に配置します。
2. プライヤーを使い、コネクタを閉じます。
3. ガイドワイヤーを、それぞれのコネクタの 1-2 cm / 0.4-0.8 インチ上で切断します。
4. ガイドワイヤーを押しつけてチャージステーションプレートのスロットに通します。
5. コネクタを、チャージステーションの「G」というマークの付いた金属ピンに接続します。
6. チャージステーションを電源コンセントから取り外します。
7. ガイドワイヤーの端を、境界ワイヤーのアイレットに置きます。
8. ワイヤークッターを使用して、境界ワイヤーを切断します。
9. カプラーを使用して、ガイドワイヤーを境界ワイヤーに接続します。



- a) 境界ワイヤーの両端とガイドワイヤーの端をカプラーに入れます。

注記： ガイドワイヤーの両端がカプラーの透明部分を通っていることを確認してください。

- b) アジャスタブルブライヤーでカプラーのカバーを押し下げてカプラーにワイヤーを取り付けます。



10. ガイドワイヤーをペグで地面に取り付けるか、または地中に埋めます。ペグを使ってワイヤーを所定の位置に固定する方法 19 ページまたは境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを埋め込む方法 19 ページを参照してください。

11. チャージステーションを電源に接続します。

3.6 ペグを使ってワイヤーを所定の位置に固定する方法



注意： ペグが境界ワイヤーとガイドワイヤーを保持して地面に固定されていることを確認します。



注意： 設置直後に芝を短く刈り込み過ぎると、ワイヤーの絶縁を損傷することがあります。絶縁を損傷しても、数週間または数カ

月後まで作業中断が発生しないことがあります。

1. 境界ワイヤーとガイドワイヤーを地面に置きます。
2. ペグを、75 cm / 30 インチ以下の間隔をあけて置きます。
3. ハンマーまたはプラスチックハンマーで、ペグを地面に打ち込みます。

注記： 数週間後には、このワイヤーは芝で覆われて見えなくなります。

3.7 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを埋め込む方法

- エッジャーまたはストレートシャベルで、地面に溝を切ります。
- 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを 1-20 cm / 0.4-8 インチの深さで埋め込みます。

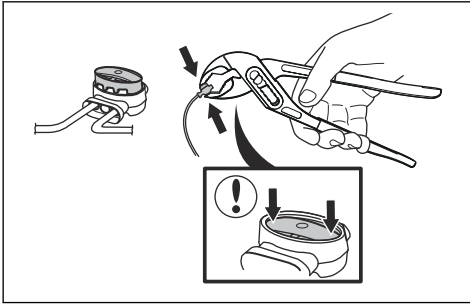
3.8 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを延長する方法

注記： 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーが作業エリアに対して短すぎる場合は、延長します。カプラーなどの予備部品は、純正部品を使用してください。

1. チャージステーションを電源コンセントから取り外します。
2. 延長用カプラーを取り付ける必要がある場所では、境界ワイヤーまたはガイドワイヤーをワイヤーカッターで切断します。
3. 延長用カプラーを取り付ける必要がある場所に、延長用のワイヤーを追加します。
4. 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを正しい位置に置きます。
5. ワイヤーの端部をカプラー内に入れます。

注記： 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーの端がカプラーの透明部分を通っていることを確認します。

6. アジャスタブルブライヤーでカプラーのカバーを押し下げてカプラーにワイヤーを取り付けます。



7. ベグを使って、境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを正しい位置に置きます。
8. チャージステーションを電源に接続します。

3.9 本製品設置後の点検

3.9.1 チャージステーションを目視点検する方法

1. チャージステーションの LED インジケータランプが緑色に点灯していることを確認します。
2. LED インジケータランプが緑色に点灯していない場合は、設置状態を確認します。チャージステーションのインジケータランプ 37 ページおよびチャージステーションを設置する方法 17 ページを参照してください。

3.10 Automower® Connect アプリのインストール

1. Automower® Connect アプリをモバイルデバイスにダウンロードします。
2. Automower® Connect アプリで Husqvarna アカウントを登録します。
3. 登録されたメールアドレスにメールが送信されます。電子メールの手順に従って、24 時間以内にアカウントを認証します。
4. Automower® Connect アプリで Husqvarna アカウントにログインします。

3.11 基本設定を行うには

1. 本製品をオンにします。

注記： 本製品の Bluetooth® ペ어링操作モードが 3 分間有効になります。本製品とモバイルデバイス間のペ어링操作が正常に完了しなかった場合は、本製品を再始動して Bluetooth® を再度有効にします。

2. Automower® Connect アプリで Husqvarna アカウントにログインします。

3. ご使用のモバイルデバイスで、Bluetooth® を起動します。
4. Automower® Connect アプリで [My mowers (登録した芝刈機)] を選択し、本製品を追加します。
5. 工場 PIN コード 1234 を入力します。

注記： 工場 PIN コードを個人の PIN コードに変更することをお勧めします。参照：PIN コード 23 ページ。

6. アプリの指示に従って設定を行い、Wi-Fi ネットワークを選択して Husqvarna クラウドに接続します。

注記： Automower® Connect アプリと本製品のペ어링操作は 1 回だけ必要です。

4 設定

製品の設定には Automower® Connect アプリを使用してください。工場出荷時設定は、ほとんどの作業エリアに適した設定となっていますが、各作業エリアの状況に合わせて調整できます。

4.1 スケジュール



[Schedule (スケジュール)] で、本製品のスケジュール設定を変更できます。

[Schedule (スケジュール)] 機能により、本製品の稼働時間を制御します。本製品は、稼働していないときはチャージステーションに駐車します。アプリのスケジュール概要で、製品が稼働する日時を確認できます。

作業エリアが本製品の最大面積性能より小さい場合は、[Schedule (スケジュール)] の設定が可能です。設定することで、芝生や本製品の損耗を防ぐことができます。工場出荷時に設定されたスケジュールでは、本製品は毎日 24 時間休みなく稼働します。

スケジュール設定の計算については、を参照してください
スケジュール 21 ページ。

4.1.1 必要な運転時間の見積もり

作業エリアが製品の最大性能より小さい場合は、スケジュール機能を使用して、芝の傷みや製品の摩耗を最小限に抑えることを推奨します。本製品には、最大芝刈り時間が日ごとに設定されています。スケジュールで本製品の運転時間を設定できます。運転時間には、芝刈り、探索、充電の時間が含まれます。作業エリアの配置、芝の成長、バッテリーの寿命など多くの理由により、運転時間が異なる場合があります。本製品の動作時間が 1 日の許容作業時間に達すると、ディスプレイに *Today's mowing complete (本日の芝刈りが完了しました)* というメッセージが表示されます。

一部の作業エリアの推奨運転時間の例を以下の表に示します。結果が適切でない場合は、運転時間を長くしてください。

面積、m ²	推奨運転時間、h
200	5-6
400	11-12

4.2 操作



[Operation (操作)] では、本製品の動作設定を変更できます。

4.2.1 天候タイマー

天候タイマーにより、芝の成長具合に合わせて芝刈り時間が自動的に調整されます。本製品は、スケジュール設定より長く運転することはできません。

注記： 天候タイマーを使用する場合、天候タイマーの運転時間をできる限り長くすることをお勧めします。必要以上にスケジュールを制限しないでください。

1 日の最初の動作は、スケジュール設定で設定します。本製品は、常に 1 回の芝刈りサイクルを完了してから、引き続き動作するかどうか为天候タイマーにより決定されます。

注記： 製品が 50 時間以上動作を停止した場合、またはすべてのユーザー設定がリセットされた場合は、天候タイマーがリセットされます。スケジュール設定のリセットが行われても、天候タイマーは変更されません。

4.2.2 ECO モード

[ECO mode (ECO モード)] では、本製品の駐車中や充電中に、境界ワイヤー、ガイドワイヤー、チャージステーションの信号が無効になります。ループ信号が無効になっている場合、チャージステーションの LED インジケータは緑色に点滅します。

注記： [ECO mode (ECO モード)] は、電力を節約し、ヒアリングループやガレージドアなど、他の機器との干渉を防止するために使用します。

注記： 作業エリア内で本製品を手動で始動するには、最初にループ信号を有効にする必要があります。

4.2.2.1 ループ信号の有効化

1. 本製品をオンにします。
2. **STOP** ボタンを押します。
3. 2 秒待ってから、本製品をチャージステーションから取り外します。
4. チャージステーションの LED インジケータが緑色に点灯していることを確認します。
5. 芝刈りを開始する位置に本製品を置きます。

4.2.3 Frost Guard (霜ガード)

芝の上に霜が付着していると、芝が摩耗しやすくなります。霜ガードが有効化され、温度が 5°C/41°F 未満の場合、本製品は芝刈りを開始しません。

注記： 霜センサーはシャーシの内側にあります。周囲温度と温度差がある可能性があります。

4.3 Installation (設置)



[Installation (設置)] では、本製品の設置設定を変更できます。

4.3.1 芝生範囲とシステムチック経路刈り

作業エリアに狭い経路でつながっているエリアがある場合は、[Lawn coverage (芝生範囲)] および [Systematic Passage Mowing (システムチック経路刈り)] 機能を使用すると、庭のすべての部分の芝を適切に刈り整えることができます。[Lawn coverage (芝生範囲)] 機能は、本製品を作業エリア内の離れた部分 (リモートエリア) にガイドするために使用します。[Systematic Passage Mowing (システムチック経路刈り)] 機能は、狭い経路での芝刈りに使用します。これらの機能を使用するには、ガイドワイヤーを設置する必要があります。最大 3 つのリモートエリアを設定できます。

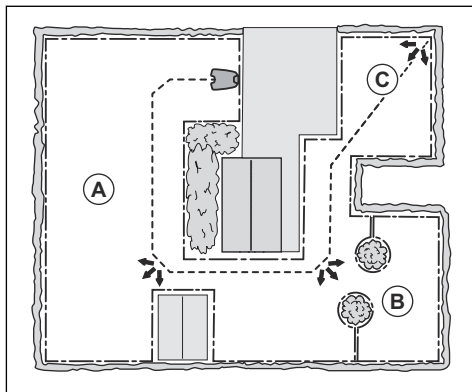
[Lawn Coverage (芝生範囲)] 機能を使用すると、本製品はまずガイドワイヤーに沿って移動し、特定の距離に到達するとガイドワイヤーから離れて、芝刈りを開始します。

[Systematic Passage Mowing (システムチック経路刈り)] 機能は、60 cm ~ 1.5 m / 2 インチ ~ 4.9 フィートの幅の狭い経路の芝を刈るのに適しています。本製品は、経路の幅をカバーするためにパターンに沿って移動します。本製品は、チャージステーションから設定された距離で [Systematic Passage Mowing (システムチック経路刈り)] を開始します。本製品が狭い経路の端に達すると、通常の芝刈りを継続します。

エリア A、約 50%

エリア B、約 30%

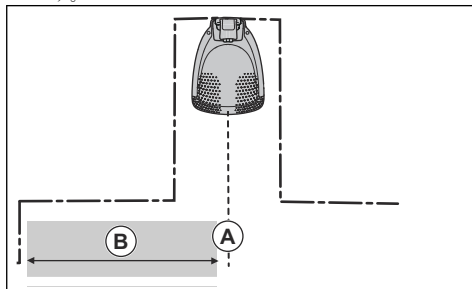
エリア C、約 20%



4.3.2 スタート地点の設定

本製品はスタート地点から作業を開始します。スタート地点は、本製品がチャージステーションからガイドワイヤーに沿って移動する距離を制御するために設定されます。本製品は、チャージステーションからスタート地点までのガイドワイヤーを通過します。工場出荷時設定は、60 cm / 2 フィートです。

- 芝生上の走行跡を防ぐために、チャージステーションから最短距離にスタート地点を設定します。
- チャージステーションを狭いエリアに設置する場合は、境界ワイヤーまでの最短距離 (B) が 60 cm / 2 フィートの位置にスタート地点 (A) を設定します。



4.3.3 ワイヤーを通過

製品のフロント部は常に、境界ワイヤーとの間に指定されている距離を保って移動します。その後、本製品は後方に移動して方向を変えます。工場出荷時の設定は 32 cm / 12 インチです。距離は 20-35 cm / 8-14 インチまで選択できます。

注記： Drive Past Wire (ワイヤーを通過) の距離を変更すると、作業エリアのすべての部分の境界ワイヤーに合わせて距離が変更されます。

4.4 アクセサリー



[*Accessories* (アクセサリ)] では、本製品のアクセサリの設定を変更できます。

4.4.1 Husqvarna モーターハウスとの衝突を回避

Husqvarna モーターハウスを設置している場合⁹ [*Avoid house collisions* (ハウスとの衝突の回避)] を選択すると、本製品とモーターハウスの摩擦が低減します。工場出荷時の設定では、この機能は無効になっています。

注記： [*Avoid house collisions* (ハウスとの衝突の回避)] を選択すると、チャージステーションの周囲の芝が刈り取られないことがあります。

4.4.2 FlexiFence

FlexiFence アクセサリーを取り付ける場合は、Automower® Connect アプリの FlexiFence 機能を有効にする必要があります。

4.5 一般



[*General* (一般)] メニューでは、時刻や日付を設定したり、工場出荷時の設定にリセットしたりできます。

このメニューは、モバイルデバイスが Bluetooth® で製品に接続されている場合のみ使用できます。

4.5.1 Time & date (時刻 & 日付)

時刻と日付は手動で変更することも、モバイルデバイスの時刻と日付を使用して変更することもできます。

4.5.2 工場設定へのリセット

ユーザー設定は、リセットして工場出荷時の設定に戻すことができます。

注記： PIN コード、ループ信号、メッセージ、および日付と時刻はリセットされません。

4.6 安全性



[*Safety* (安全性)] メニューで、本製品の安全設定を設定できます。

4.6.1 新規ループ信号

本製品とチャージステーションの間で一意のリンクを作成するため、ループ信号がランダムに選択されます。ごくまれに、隣接する 2 つの設置で非常に類似している信号を使用している場合など、新しい信号を生成することが必要になる場合があります。本製品をチャージステーションに入れて、新しいループ信号を発生させます。

4.6.2 PIN コード

初めて本製品を使用する場合は、工場 PIN コード「1234」を入力する必要があります。PIN コードは Automower® Connect アプリで変更できます。PIN コードは 4 桁である必要があります。1~4 桁の数字を使用して、新しい PIN コードを設定できます。

4.7 Automower® Connect



Automower® Connect では、Automower® Connect 機能を有効または無効にできます。製品を Wi-Fi ネットワークに接続できます。信号強度と接続ステータスも表示できます。

このメニューは、モバイルデバイスが Bluetooth® で製品に接続されている場合のみ使用できます。

4.8 無線ファームウェアのダウンロード(Firmware over the air FOTA)

本製品には、新しいファームウェアを自動的にダウンロードする機能があります。本製品がチャージステーションに駐車中で、Wi-Fi の範囲内にあるときに、新しいファームウェアがダウンロードされます。新しいファームウェアが利用可能になると、アプリに通知が表示され、新しいファームウェアのインストールを選択できます。

⁹ 別売り

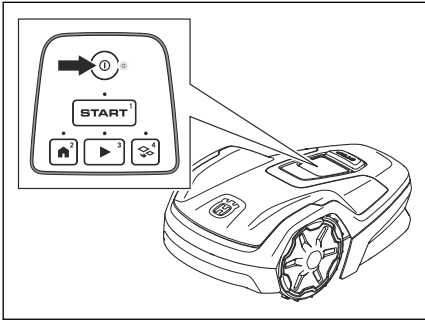
5 Operation (動作)

5.1 ON/OFF ボタンの使用



警告： 本製品を使用する前に、安全に関する章を読んで理解してください。

- **ON/OFF** ボタンを 3 秒間押し、本製品をオンにします。LED インジケータが点灯していることを確認します。
- LED インジケータが点滅している場合、本製品はオンで省エネモードになっています。**ON/OFF** ボタンを 3 秒間押し、本製品をオンにします。



- **ON/OFF** ボタンを 3 秒間押し、本製品をオフにします。LED インジケータが消灯していることを確認します。

5.1.1 インジケータランプ

キーパッドのインジケータランプは、本製品の動作モードを示します。キーパッドの **LED インジケータ 9** ページを参照してください。

5.2 本製品の始動方法

1. **ON/OFF** ボタンを 3 秒間押します。
2. キーパッドを使用して PIN コードを入力します。参照： **PIN コード 23** ページ。
3. 動作モードを選択します。参照： **操作モード 24** ページ。

注記： 設置後の最初の数週間は、芝を刈るときに聞こえる騒音レベルが予想よりも高くなる可能性があります。本製品が芝をしばらく刈り続けると、感じられる騒音レベルは大幅に低下します。

5.3 操作モード

次の動作モードを使用できます。

- メインエリア
- セカンダリエリア
- 駐車
- **Park / Schedule** (駐車/スケジュール)
- スケジュールのオーバーライド

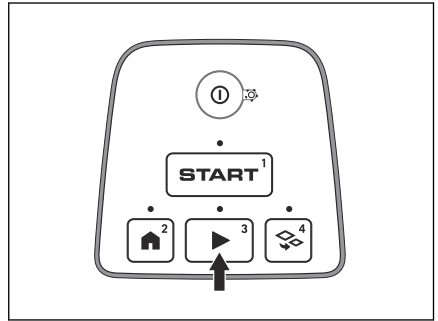
5.3.1 メインエリア

[**Main area** (メインエリア)] は、本製品が芝刈りと充電を自動的に行う、標準の操作モードです。

5.3.1.1 メインエリアでの製品の動作設定

これは、アプリのダッシュボードまたは本製品のキーパッドで設定できます。

1. **STOP** ボタンを押します。
2. [**Play (実行)**] ボタンを押します。



3. **START** ボタンを押します。

5.3.2 セカンダリエリア

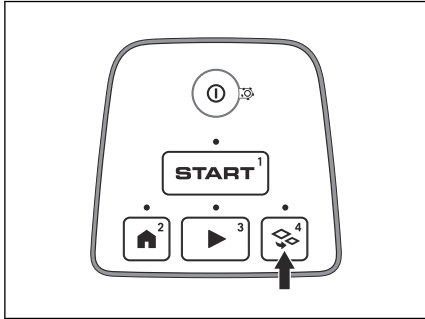
セカンダリエリアの芝刈りをするには、動作モード **Secondary area** (セカンダリエリア) を選択する必要があります。このモードでは、使用者が、メインエリアとセカンダリエリアの間を手動で本製品を移動させる必要があります。本製品は、バッテリーが空になるまで芝刈りを行います。バッテリーが空になった場合は、本製品をチャージステーションに入れてバッテリーを充電します。バッテリーが充電されると、本製品はチャージステーションから移動して停止します。本製品の作動準備は整いましたが、作動前に使用者が確認する必要があります。

注記： バッテリーの充電後にメインエリアの芝を刈る場合は、本製品をチャージステーションに置き、アプリの動作モードをメインエリアに変更するか、本製品のキーパッドを使用して動作モードを変更します。

5.3.2.1 セカンダリエリアでの製品の動作設定

これは、アプリのダッシュボードまたは本製品のキーボードで設定できます。

1. **STOP** ボタンを押します。
2. **[Secondary area (セカンダリエリア)]** ボタンを押します。



3. **START** ボタンを押します。

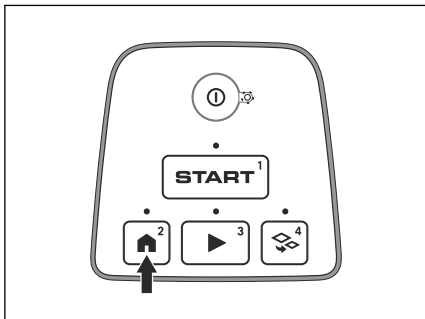
5.3.3 駐車

動作モード **[Park / Schedule (駐車/スケジュール)]** とは、製品がチャージステーションに戻り、次のスケジュールまでチャージステーションに留まることを意味します。本製品がその日の最大芝刈り時間で運転している場合は、翌日に再び運転を開始します。参照： **必要な運転時間の見積もり 21** ページ。

5.3.3.1 本製品の駐車し、次のスケジュールで再開

これは、アプリのダッシュボードまたは本製品のキーボードで設定できます。

1. **STOP** ボタンを押します。
2. **[Park (駐車)]** ボタンを押します。



3. **START** ボタンを押します。

注記： 製品の動作モードを変更するには、**STOP** ボタンを押すと、製品がアイドルモードになり、動作モードを設定できます。

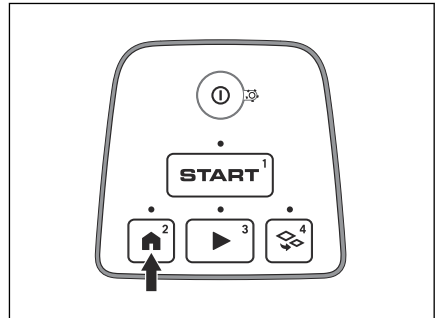
5.3.4 Park until further notice (さらなる通知があるまで駐車)

動作モード **Park until further notice (さらなる通知があるまで駐車)** を使用すると、本製品はチャージステーションに戻ります。新しい動作モードを選択するまで、本製品はチャージステーションに駐車します。

5.3.4.1 本製品の駐車

これは、アプリのダッシュボードまたは本製品のキーボードで設定できます。

1. **STOP** ボタンを押します。
2. **[Park (駐車)]** ボタンを 2 秒間押します。



3. **START** ボタンを押します。

注記： 製品の動作モードを変更するには、**STOP** ボタンを押すと、製品がアイドルモードになり、動作モードを設定できます。

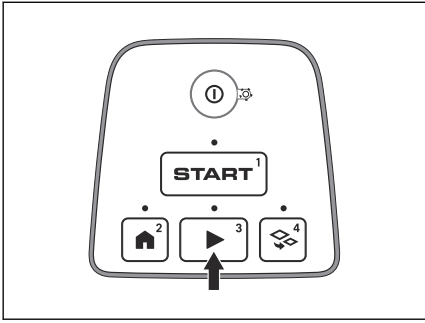
5.3.5 スケジュールのオーバーライド

スケジュール設定を一時的に上書きするには、**スケジュールのオーバーライド** を選択します。3 時間のスケジュール設定をオーバーライドするように選択できます。本製品は、1 日の最大芝刈り時間を超えて刈るように設定することはできません。

5.3.5.1 スケジュールのオーバーライド

これは、アプリのダッシュボードまたは本製品のキーボードで設定できます。

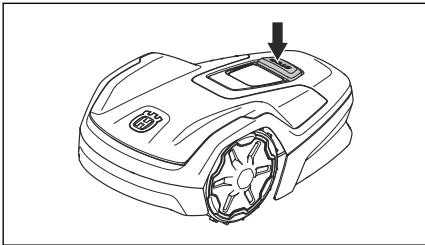
1. **STOP** ボタンを押します。
2. **Play (実行)** ボタンを 2 秒間押します。



3. **START** ボタンを押します。

5.4 本製品の停止方法

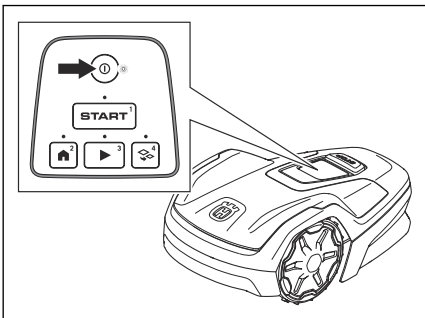
1. 本製品の上部にある **STOP** ボタンを押します。



注記：STOP (停止) ボタンを押すと、製品はアイドリング状態になります。本製品が停止し、カッティングモーターが停止します。

5.5 本製品をオフにする

1. **STOP** ボタンを押します。
2. **ON/OFF** ボタンを 3 秒間押して、本製品をオフにします。LED インジケータが消灯していることを確認します。



5.6 バッテリーの充電

本製品が新品の場合や長期間の保管後は、バッテリーが空になっている可能性があります。本製品を始動する前に、バッテリーを充電してください。**Main area** (メインエリア) モードでは、本製品は自動的に芝刈りと充電を行います。

1. **ON/OFF** ボタンを押して、本製品の電源を始動します。
2. チャージプレートが接点プレートと接触するように、本製品をチャージステーションに配置します。
3. **[ON/OFF]** ボタンの LED が脈動していることを確認します。

5.7 刈高調整



注意：新しく設置してから数週間は、ループワイヤーの損傷を防ぐため、刈高を **3** に設定してください。その後、毎週刈高を下げるすることができます。

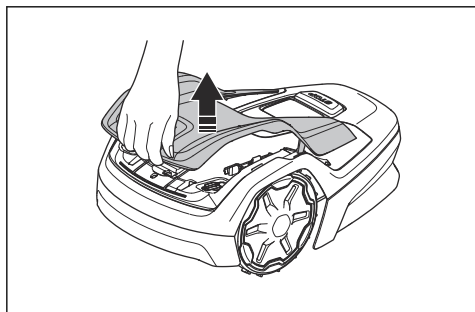
3 種類の刈高ステップから選択することができます。ブレードディスクには、ステップ別にマークが付いています。ステップ **1** は最低高さ、ステップ **2** は中間高さ、ステップ **3** は最高の高さです。工場出荷時の設定は **3** です。

5.7.1 刈高を調整するには、次の手順に従います。

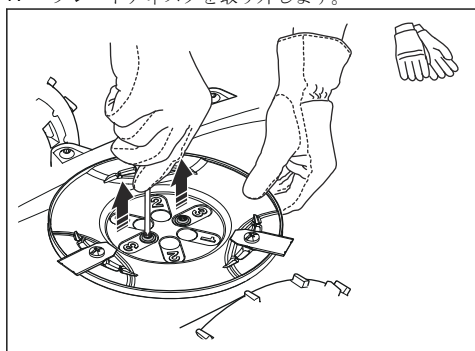


警告：保護グローブを着用してください。

1. **ON/OFF** ボタンを 3 秒間押して、本製品をオフにします。
2. 本製品が無効化されていることを確認します。本製品がオフになっている場合、**[ON/OFF]** ボタンの LED インジケータは点灯しません。参照：キープパッド **g** ページ。
3. 本製品の前部から上部カバーを引き上げ、取り外します。



4. 製品本体からトルクスレンチを取り外します。
5. ブレードディスクを上にして製品を置きます。
6. ブレードディスクの2本のネジを取り外します。
7. ブレードディスクを取り外します。



8. 刈高を選択し、ブレードディスクの2つの穴をシャフトの2つの穴に合わせます。
9. ブレードディスクに2本のネジを取り付けて、シャフトをブレードディスクに取り付けます。
10. 製品本体にトルクスレンチを取り付けます。
11. 上部カバーを製品に取り付けます。

6 メンテナンス

6.1 はじめに - メンテナンス



警告： 製品のメンテナンスを行う場合は本製品を OFF に設定します。



警告： 保護グローブを着用してください。

本製品の動作を改善し、耐用年数を延長するために、定期的に清掃し、摩耗した部品を交換してください。

本製品が新品の場合は、ブレードディスクとブレードを毎週点検してください。摩耗が少ない場合は、次回ブレードディスクとブレードを点検する間隔を長くすることができます。ブレードディスクとブレードに摩耗が多い場合は、より頻繁に定期点検を行ってください。

6.2 メンテナンスのスケジュール

メンテナンスのスケジュールには、本製品のサービスとメンテナンスの方法が記載されています。より良い動作のため、また製品寿命を延ばすために、メンテナンスのスケジュールに従ってください。

ブレードディスクが容易に回転し、ブレード端部が損傷していないことが重要です。ブレードの通常の寿命は 4 ~ 7 週間です。以下の条件により、ブレードの寿命が長く、あるいは短くなります。

- 作動時間および作業エリアの寸法。
- 芝の長さおよび厚さ。
- 土壌、砂、および肥料の使用。
- 作業エリアの球果、ツール、石、根などの物体。

注記： ブレードの切れ味が悪い場合、芝刈りの結果が不十分になる可能性があります。ブレードの交換方法については、[ブレードの交換 30 ページ](#)を参照してください。

X = この取扱説明書に説明があります。

O = この取扱説明書には説明がありません。認定サービス代理店にご連絡ください。

準備	毎週	1年に1回	3年に1回
製品を清掃します。参照： 製品の清掃 29 ページ 。	X		
本製品に損傷や摩耗がないことを確認します。	X		
ファームウェアのアップデートを行います。	X		
推奨される更新があるか、サービスメッセージを確認します。		O	
サービス			
ブレードを点検し、必要に応じてブレードとブレードのネジを交換します。参照： ブレードの交換 30 ページ 。	X		
チャージステーションの接点プレートを点検して研磨します。		X	
本製品のチャージプレートを点検して研磨します。		X	
本製品を保管する前に、バッテリーを完全に充電してください。参照： バッテリーの充電 26 ページ 。		X	
本製品が正しく取り付けられて、充電されていることを確認します。		O	
エアフローフィルターを点検して清掃します。		O	
エアフローフィルターを交換します。			O
シャーシのネジの締付トルクを確認します。		O	
シャーシを開き、シールストリップをすべて交換します。			O

準備	毎週	1年に1回	3年に1回
最後のステップ		○	
ソフトウェアサービスツールを使用して、本製品の機能テストを行います。			

6.3 製品の清掃



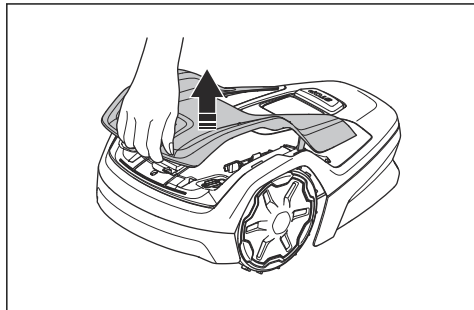
注意： 本製品の清掃には高圧水を使用しないでください。清掃には溶剤を使用しないでください。

Husqvarna は、専用のクリーニング/メンテナンスキットの使用をお勧めします。詳しくは、Husqvarna サービスまでお問い合わせください。

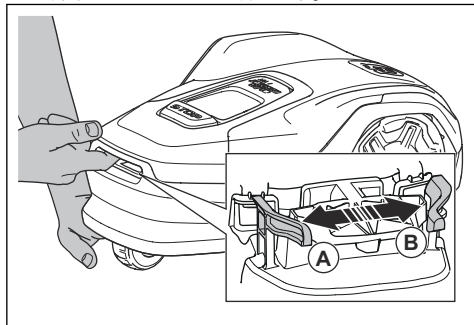
6.3.1 シャーシおよびブレードディスクの清掃

ブレードディスクとブレードは週に1回点検してください。製品の本体を取り外して、完全に清掃します。

1. **STOP** ボタンを押します。
2. **ON/OFF** ボタンを3秒間押して、本製品をオフにします。キーパッドのLEDインジケータが消えていることを確認します。
3. 本製品の前部から上部カバーを引き上げ、取り外します。



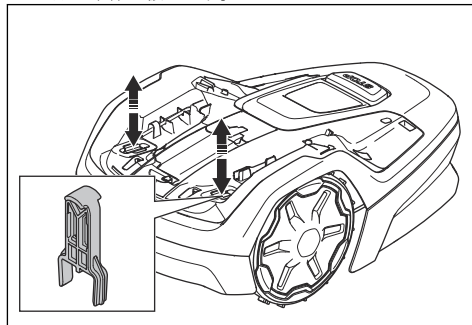
4. 製品本体からメンテナンスツールを取り外します。
5. 片手でリヤホイールを持ちます。



6. 手の甲を押し上げて、製品本体を持ち上げます。
7. もう一方の手で、左クリップ (A)、右クリップ (B) を押しします。

注記： クリップ (A) と (B) は見えません。本製品前面の穴にクリップがあります。

8. メンテナンスツールを2つの穴に押し込んで、本製品の本体を緩めます。



9. 本製品の本体を取り外します。
10. 本製品を横向きに置きます。
11. ブレードが損傷していないこと、ブレードとブレードディスクが自由に回転することを確認します。
12. ブラシと流水でブレードディスクとシャーシを清掃します。

6.3.2 ホイールの清掃

本製品は、ホイールに草が詰まっていると斜面で十分に動作しません。

- ホイールの清掃には柔らかいブラシを使用してください。

6.3.3 本製品の本体の清掃

- 湿らせた布と石鹸液を使用して、本製品の本体を清掃します。

6.3.4 接点プレートとコンタクトプレートの清掃

1. 上質なエメリー布を使用してチャージプレートと接点プレートを清掃します。
2. チャージプレートと接点プレートをにオイルまたはグリスを塗布します。

6.3.5 チャージステーションの清掃



警告： チャージステーションや電源装置のメンテナンスやクリーニングを行う場合は、電源装置をコンセントから外してください。



注意： チャージステーションは高圧洗浄機や流水で洗浄しないでください。

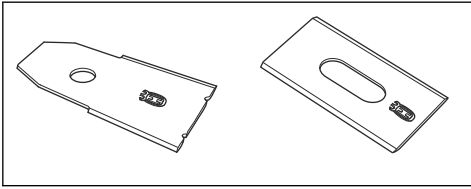
注記： チャージステーションの中に障害物があると本製品はチャージステーションの中に入れません。チャージステーションを定期的に清掃してください。

- 草や小枝などの異物をチャージステーションから取り除きます。

6.4 ブレードの交換



警告： Husqvarna は、王冠形の H マークが型押しされている Husqvarna の純正ブレードを使用する場合にのみ安全性を保證できます。

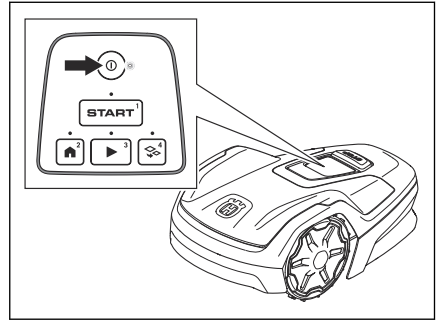


警告： ブレードを交換する場合は、ネジを交換する必要があります。使い古したネジはすぐに摩耗し、ブレードが緩むことがあります。これは、重傷の原因となる可能性があります。

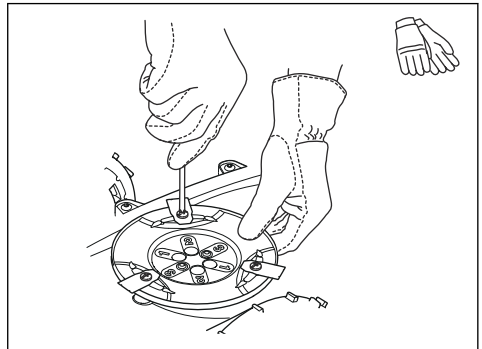
安全な操作のため、磨耗または損傷したブレードは交換してください。十分な切断結果を確保しエネルギー使用量を低減するために、ブレードは定期的に交換してください。芝刈りシステムのバランスを取るため、3 枚のブレードとねじをすべて同時に交換する必要があります。

6.4.1 ブレードの交換

1. **STOP** ボタンを押します。
2. **ON/OFF** ボタンを 3 秒間押し、本製品をオフにします。キーパッドの LED インジケータが消えていることを確認します。



3. ブレードディスクを上にして、柔らかくきれいな布に本製品を置きます。
4. 3 本のネジを外します。



5. 各ブレードとネジを外します。
6. 新しいブレードとネジを取り付けます。
7. ブレードがスムーズに回転することを確認してください。

6.5 バッテリー



注意： 本製品を保管する前に、バッテリーを完全に充電してください。バッテリーが完全に充電されていないと、バッテリーが損傷するおそれがあります。

本製品の動作時間が通常の充電よりも短い場合、バッテリーの寿命が近づいていることを示しています。動作時間を長くするにはバッテリーを交換します。

注記： バッテリーの寿命は、稼働させる時期の長さや本製品を 1 日に稼働させる時間の長さに関連します。稼働させる時期が長い場合、または 1 日に稼働させる時間が長い場合は、バッテリーをより頻繁に交換する必要があります。

6.6 冬期の保守

冬期保管前に保守を行うため、ご使用の本製品をお近くの **Husqvarna** 販売店にお持ちください。冬期保守を毎年行うことで、本製品を良好な状態に保ち、次のシーズンも、問題なく最高の状態で使用することができます。

保守には、通常以下の作業エリアが含まれます。

- 本体、シャーシ、ブレードディスクおよびその他のすべての可動部品の完全な掃除。
- 本製品の機能および部品のテスト。
- ブレードやベアリングなどの摩耗する品目の点検、および必要に応じた交換。
- 本製品のバッテリー容量のテストに、および必要な場合はバッテリー交換の推奨。
- 新しいファームウェアが入手可能な場合は、本製品のアップデート。

7 トラブルシューティング

7.1 はじめに - トラブルシューティング

本章には本製品の不具合と症状に関する情報とヘルプが記載されています。その他の情報や FAQ（よくある質問と答え）を参照してください。www.husqvarna.com

7.2 故障メッセージ

アプリに表示されるエラーメッセージは以下の表のとおりです。同じメッセージが頻繁に表示される場合は、Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Wheel motor blocked, left/right</i> (左/右のホイールモーターがブロックされています)	草などの異物がドライブホイールに巻き付いています。	草などの異物を取り除きます。
<i>Cutting system blocked</i> (カッティングシステムブロック)	草などの異物がブレードディスクに巻き付いています。	草などの異物を取り除きます。
	ブレードディスクが水中にあります。	本製品を移動して、作業エリアに水が溜まらないようにしてください。
	芝の高さが高すぎます。	本製品を設置する前に、芝を刈ってください。このとき、芝は 4 cm / 1.6 インチ以下にする必要があります。
<i>Trapped</i> (走行不能)	本製品は、小さな領域で複数の障害物の背後にあります。	障害物を取り除くか、障害物の周りに境界ワイヤーを配置してアイランドを作ります。参照： <i>アイランドを作る方法</i> 15 ページ。
<i>Outside working area</i> (作業エリア外)	境界ワイヤーのセクションは、チャージステーションへの境界ワイヤーの他のセクションを横切って配置されます。	境界ワイヤーが正しく接続されていることを確認してください。
	境界ワイヤーが作業エリアの端に近すぎます。	境界ワイヤーが正しく敷設されていることを確認します。参照： <i>境界ワイヤーを取り付ける方法</i> 18 ページ。
	境界ループのそばにある作業エリアの斜面の勾配が大きすぎます。	
	アイランド周囲の境界ワイヤーの敷設方向が適切ではありません。	
	近くフェンス、補強鋼材などの金属の物体や埋設ケーブルが境界ワイヤーに干渉しています。	境界ワイヤーを移動します。
	近くに設置されている別の製品からのループ信号と干渉しているため、製品が正しいループ信号を見つけないことができません。	本製品をチャージステーションに入れて、新しいループ信号を発生させます。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Empty battery</i> (バッテリー空)	本製品がチャージステーションを見つけないことができません。	ガイドワイヤーの位置を変更してください。参照: <i>ガイドワイヤーを取り付ける方法 18</i> ページ。
	バッテリーの寿命が近づいています。	バッテリーを交換します。Husqvarna サービスにお問い合わせください。
	チャージステーションのアンテナに不具合があります。	チャージステーションのインジケータランプが赤色に点滅しているかどうか点検してください。参照: <i>チャージステーションのインジケータランプ 37</i> ページ。
	本製品のチャージプレートまたはチャージステーションの接点プレートの腐食による不具合です。	接点プレートとコンタクトプレートを清掃します。参照: <i>接点プレートとコンタクトプレートの清掃 29</i> ページ。問題が解決しない場合は、Husqvarna 販売店にお問い合わせください。
<i>Wrong PIN code</i> (PIN コードの誤り)	入力された PIN コードが間違っています。入力に 5 回失敗すると、本製品は一定時間ロックされます。	正しい PIN コードを入力してください。正しい PIN コードがわからない場合は、 www.husqvarna.com にアクセスして、PIN コードの取得方法を入手するか、Husqvarna サービスにお問い合わせください。
駆動なし	本製品は何かにつかかっており、スリップしています。	本製品を解放して、問題の原因を解決します。濡れた草が原因であれば、芝生が乾いてから本製品を使用してください。
	作業エリア内に急な斜面があります。	急な斜面を隔離してください。参照: <i>境界ワイヤーの敷設場所について 13</i> ページ。
	ガイドワイヤーが斜面に対して斜めに敷設されていません。	ガイドワイヤーが斜面に対して斜めに取り付けられていることを確認します。参照: <i>境界ワイヤーを斜面に設置する方法 15</i> ページ。
<i>Wheel motor overloaded, left/right</i> (ホイールモーター過負荷、左右)	草などの異物がドライブホイールに巻き付いています。	ドライブホイールから草などの異物を取り除きます。
<i>Collision sensor problem</i> (衝突センサーの問題)	本製品の前輪がブロックされています。	本製品を解放して、問題の原因を解決します。問題が解決しない場合は、Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

メッセージ	原因	対応措置
Charging station blocked (ステーションブロック)	本製品のチャージプレートとチャージステーションの接点プレートの接触に不具合があります。本製品は充電を何度か試みています。	本製品をチャージステーションに置いて、チャージプレートと接点プレートが接続していることを確認します。
	障害物のため本製品がチャージステーションに入ることができません。	障害物を取り除いてください。
	チャージステーションが傾いているか曲がっています。	ベースプレートを水平面に置きます。
	ガイドワイヤーが正しく設置されていません。	ガイドワイヤーを適切に取り付けます。 参照：ガイドワイヤーを取り付ける方法 18 ページ。
	ホイールに汚れがあり、本製品がチャージステーションに入るのを妨げています。	本製品を完全に清掃します。
Stuck in charging station (チャージステーションにスタック)	障害物のため本製品がチャージステーションから移動できません。	障害物を取り除いてください。
	ホイールに汚れがあり、本製品がチャージステーションに入るのを妨げています。	本製品を完全に清掃します。
Upside down (上下反転)	製品の位置が正しくないか、製品が傾斜しすぎているか、上下が逆になっています。	本製品を正しい位置に置きます。
Lifted (持ち上げられました)	本製品が持ち上がったため、リフトセンサーが作動しました。	本製品の本体がシャーシの周囲を自由に動けることを確認してください。シャーシを持ち上げる原因となる可能性のある障害物を取り除くか、障害物の周囲にアイランドを作ります。問題が解決しない場合は、Husqvarna 販売店にお問い合わせください。
Wheel drive problem, right/left (右/左ホイール駆動問題)	草などの異物がドライブホイールに巻き付いています。	ホイールとホイールの周りをきれいにしてください。
Electronic problem (電気系の問題)	電子関連またはファームウェア関連の一時的な問題が本製品に発生しています。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、Husqvarna 販売店にお問い合わせください。
Loop sensor problem, front/rear (前/後ループセンサーの問題)		
Tilt sensor problem (傾斜センサー不具合)		
一時的な問題		
Invalid sub-device combination (無効なサブデバイス組み合わせ)		
一時的なバッテリーの問題		
Safety function faulty (安全機能の不具合)		

メッセージ	原因	対応措置
Charging system problem (充電システムの問題)	バッテリーのタイプが間違っています。	メーカーが推奨する純正バッテリーを使用してください。
Battery problem (バッテリーの問題)	バッテリーまたはファームウェア関連の一時的な問題が本製品に発生しています。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、Husqvarna 販売店にお問い合わせください。
	バッテリーのタイプが間違っています。	メーカーが推奨する純正バッテリーを使用してください。
温度制限	バッテリー温度が高すぎるか低すぎるため、作業を開始できません。	バッテリーの温度が作動限度に達しておらず、充電/芝刈りが停止しています。温度が制限値に戻ると、充電/芝刈りが開始されます。
Charging current too high (高すぎる充電電流)	電源ユニットが正しくないか、不具合があります。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

メッセージ	原因	対応措置
No loop signal (ループ信号なし)	電源または低電圧ケーブルが接続されていません。	チャージステーションの LED ステータスインジケータが点灯しない場合は、電力が供給されていないということです。コンセントの接続と漏電遮断器を点検します。低電圧ケーブルがチャージステーションに接続されていることを確認してください。
	電源または低電圧ケーブルが損傷しているか、または接続されていません。	電源または低電圧ケーブルを交換します。
	境界ワイヤーがチャージステーションに接続されていません。	境界ワイヤーをチャージステーションに接続します。損傷がある場合はコネクタを交換してください。参照: 境界ワイヤーを取り付ける方法 18 ページ 。
	境界ワイヤーが損傷しています。	チャージステーションの LED ステータスインジケータを確認します。境界ワイヤーに損傷がある場合は、損傷した箇所を新しい境界ワイヤーに交換します。
	本製品は始動しようとしたが、チャージステーションになく、[ECO mode (ECO モード)] が有効になっています。	本製品をチャージステーションに置いて始動します。
	境界ワイヤーのセクションは、アイランドと他の境界ワイヤーの他のセクションを横切っています。	アイランドの周囲の正しい方向に境界ワイヤーを取り付けます。参照: 境界ワイヤーを取り付ける方法 18 ページ 。
	製品とチャージステーションのペアリングに問題があります。	本製品をチャージステーションに入れて、新しいループ信号を発生させます。参照: 新規ループ信号 23 ページ 。
	近くのフェンス、補強鋼材などの金属の物体や埋設ケーブルからの干渉があります。	境界ワイヤーを移動する、作業エリアのアイランドを増やすなどにより、信号強度を高めます。
本製品が境界ワイヤーから遠すぎます。	作業エリアのすべての部分が境界ワイヤーから 15 m/50 フィート以内になるように境界ワイヤーを設置してください。	

メッセージ	原因	対応措置
<i>Mower tilted</i> (芝刈機の傾き)	本製品の傾きが最大角度を超えています。	本製品を平らなエリアに移動します。
<i>Invalid firmware configuration</i> (無効なファームウェア設定)	本製品のファームウェアが更新されていません。	本製品をチャージステーションに駐車して、FOTA 経由でファームウェアをアップデートします。問題が解決しない場合は、Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

7.3 情報と警告メッセージ

アプリに表示される情報メッセージは以下の表のとおりです。同じメッセージが頻繁に表示される場合は、Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Settings restored</i> (設定の復元)	<i>Reset all user settings</i> (全ユーザー設定リセット) が実行されました。	本製品の通常の動作です。
<i>FlexiFence</i> の問題	<i>FlexiFence</i> アクセサリーのバッテリー残量が少なくなっています。 <i>FlexiFence</i> は、バッテリーが空の場合動作しません。 <i>FlexiFence</i> を充電する前に本製品を始動すると、進入制限ゾーンで芝刈りを行うことがあります。	本製品を始動する前に、本製品を駐車して <i>FlexiFence</i> アクセサリーを充電してください。
	<i>FlexiFence</i> アクセサリーの温度が上限を超えたため、オフに設定されました。	本製品は、日光から保護されている場所に設置してください。本製品を始動する前に <i>FlexiFence</i> アクセサリーの温度を下げてください。
<i>Guide not found</i> (ガイドが見つかりません)	ガイドワイヤーがチャージステーションに接続していません。	ガイドワイヤーをチャージステーションに接続します。参照: <i>ガイドワイヤーを取り付ける方法 18</i> ページ。
	ガイドワイヤーが損傷しています。	損傷した箇所を新しいガイドワイヤーに交換します。
	ガイドワイヤーが境界ループに接続されていません。	ガイドワイヤーを境界ループに適切に接続します。参照: <i>ガイドワイヤーを取り付ける方法 18</i> ページ。
ループ信号が作成されました	新しいループ信号が変更されました。	本製品の通常の動作です。
<i>Needs manual charging</i> (手動充電必要)	本製品の動作モードがセカンダリエリアに設定されています。	本製品をチャージステーションに入れます。
<i>Next start hh:mm</i> (次回始動時間 hh:mm)	スケジュール設定により本製品は動作しません。	スケジュール設定を変更してください。参照: <i>スケジュール 21</i> ページ。
	製品は 1 日の最大芝刈り時間まで動作しました。	本製品の通常の動作です。
<i>Today's mowing completed</i> (本日の芝刈りが完了しました)	製品は 1 日の最大芝刈り時間まで動作しました。	本製品の通常の動作です。参照: <i>スケジュール 21</i> ページ。

メッセージ	原因	対応措置
Connection NOT changed (接続は変更されませんでした)	エラーのため、ループ信号は変更されませんでした。	New loop signal (新規ループ信号) を何度も作成します。参照： 新規ループ信号 23 ページ。問題が解決しない場合は、 Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

7.4 チャージステーションのインジケータランプ

チャージステーションのインジケータランプは、正しく取り付けられていることを示す緑色で点灯または点滅していなければなりません。そうでない場合は、以下のトラブルシューティングの表に従ってください。

詳しくは **Husqvarna** サービスまでお問い合わせください。

ランプ	原因	行動
緑色の点灯	良好な信号。	本製品の通常の動作です。
緑色の点滅	信号は良好であり、 ECO モードが有効になっています。	本製品の通常の動作です。 ECO モード 21 ページを参照してください。
青色の点滅	境界ワイヤーがチャージステーションに接続されていません。	境界ワイヤーがチャージステーションに正しく設置されていることを確認してください。 境界ワイヤーを取り付ける方法 18 ページを参照してください。
	境界ワイヤーが損傷しています。	損傷した箇所を探してください。損傷した箇所を新しい境界ワイヤーに交換します。
黄色の点滅	ガイドワイヤーがチャージステーションに接続されていません。	ガイドワイヤーがチャージステーションに正しく設置されていることを確認してください。参照： ガイドワイヤーを取り付ける方法 18 ページ
	ガイドワイヤーが損傷しています。	損傷した箇所を探してください。損傷した箇所を新しいガイドワイヤーに交換します。
赤色の点滅	チャージステーションのアンテナに干渉があります。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
赤色の点灯	回路基板のエラーか、チャージステーションに不適切な電源が接続されています。エラーは Husqvarna サービスが修正しなければなりません	Husqvarna サービスにお問い合わせください。

7.5 症状

本製品が通常どおりに動作しない場合は、下の症状表に従ってください。不具合の原因が分からない場合は、お近くの Husqvarna 販売店にご連絡ください。

症状	原因	対応措置
本製品がうまくドッキングしない。	ガイドワイヤーがチャージステーションに対して直線的にまっすぐに配置されておらず、正しい距離がありません。	チャージステーションの設置を確認します。参照：チャージステーションを設置する方法 17 ページ。
	ガイドワイヤーがチャージステーションプレートのスロットに入れられていません。	ガイドワイヤーがチャージステーションに対して直線的にまっすぐに配置されていること、およびチャージステーションプレートのスロットに入れられていることを確認します。参照：ガイドワイヤーを取り付ける方法 18 ページ。
	チャージステーションが水平な場所にありません。	チャージステーションは、平らな場所に設置してください。参照：チャージステーションの設置場所について 12 ページ。
	本製品に汚れがあり、チャージステーションに入るのを妨げています。	本製品を完全に清掃します。参照：製品の清掃 29 ページ。
	本製品のチャージプレートまたはチャージステーションの接点プレートの腐食による不具合です。	接点プレートとコンタクトプレートを清掃します。参照：接点プレートとコンタクトプレートの清掃 29 ページ。
本製品が指定していない時間に動作する。	動作の開始時刻と終了時刻が正しくありません。	スケジュール設定を変更してください。参照：スケジュール 21 ページ。
	本製品の時間が合っていません。	アプリの [General (一般)] メニューで時間を設定します。
本製品が振動する。	ブレードが損傷しているため、カッティングシステムのバランスが取れていません。	ブレードとネジを点検し、必要に応じて交換してください。参照：ブレードの交換 30 ページ。
	同じ位置のブレードが多すぎるため、カッティングシステムのバランスが取れていません。	ネジに対してブレードが 1 枚だけ取り付けられていることを確認してください。
	本製品に厚さの異なるブレードが取り付けられています。	ブレードの厚さが異なっているかを点検し、必要に応じて交換します。
	カッティングディスクが正しく取り付けられていません。	カッティングディスクのネジが正しく取り付けられていることを確認します。
製品は動作していますが、ブレードディスクは回転していません。	本製品はチャージステーションを探しているか、または出発地点まで運転しています。	本製品の通常の動作です。本製品がチャージステーションを探しているときは、ブレードディスクは回転しません。

症状	原因	対応措置
1回の充電で持続する本製品の動作時間が通常よりも短い。	草などの異物が原因でブレードディスクが詰まっています。	ブレードディスクを取り外して清掃します。参照：シャワーおよびブレードディスクの清掃 29 ページ。
	バッテリーの寿命が近づいています。	バッテリーを交換します。Husqvarna サービスにお問い合わせください。
	ブレードが鈍くなっています。芝を刈る際はより多くのエネルギーが必要となります。	ブレードを交換します。参照：ブレードの交換 30 ページ。
芝刈り時間と充電時間が通常よりも短い。	バッテリーの寿命が近づいています。	バッテリーを交換します。Husqvarna サービスにお問い合わせください。
FOTA を介した新しいファームウェアのインストールでエラーが発生しました。	ファームウェアが正しくダウンロードされませんでした。	ディスプレイのボタンを押して、ファームウェアのインストールを再開します。問題が解決しない場合は、Husqvarna 販売店にお問い合わせください。
本製品がチャージステーションで数時間停止している。	製品は1日の最大芝刈り時間まで動作しました。	本製品の通常の動作です。参照：必要な運転時間の見積もり 21 ページ。
	STOP (停止) ボタンが押されました。	PIN コードを入力して、START ボタンを押します。
	駐車モードが有効になっています。	動作モードを変更します。参照：操作モード 24 ページ。
	バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎる場合、本製品は動作しません。	チャージステーションの設置場所が日光から保護されていることを確認してください。
芝刈りの結果が不均一。	製品は1日にわずかな時間しか動作しません。	芝刈り時間を増やしてください。参照：必要な運転時間の見積もり 21 ページ。
	作業エリアの形状については、作業エリア全体をカバーするように芝生範囲の設定を調整する必要があります。	本製品が芝刈りを開始するエリアと芝刈りの頻度の設定を変更します。参照：芝生範囲とシステムチェック経路刈り 22 ページ。
	作業エリアが広すぎます。	作業エリアのサイズを小さくするか、スケジュールを延長します。参照：必要な運転時間の見積もり 21 ページ。
	ブレードが鈍くなっています。	すべてのブレードを交換します。参照：ブレードの交換 30 ページ。
	設定された刈高に対して芝が長すぎます。	刈高を上げ、芝が短くなったら下げます。
	ブレードディスクまたはモーターシャフト周辺に草が堆積しています。	堆積した草を取り除き、本製品を清掃します。参照：製品の清掃 29 ページ。
バッテリーの充電状態は高いですが、製品はチャージステーションに戻ります。	狭い場所での詰まりを防ぐため、本製品はガイドワイヤーに沿ってチャージステーションまで移動します。	本製品の通常の動作です。

7.6 ループワイヤーの損傷を発生

ループワイヤーの損傷は、通常ショベルを使用した庭仕事など、意図せずにワイヤーを物理的に損傷するために起こります。また、霜柱の立つ国では、尖った石が地中で移動して、ワイヤーを損傷することがあります。敷設時にワイヤーを張り過ぎた場合も、損傷することがあります。

設置直後に芝を短く刈り込み過ぎた場合も、ワイヤーの絶縁体を損傷することがあります。絶縁体を損傷しても、数週間または数ヶ月後まで作業中断が発生しないことがあります。これを防止するため、設置後の最初の数週間は必ず最大の刈高を選択し、それから2週間ごとに一度に1段階ずつ高さを下げて、希望の刈高に達するようにします。

ループワイヤーの接合不良により、接合を行ってから数週間で作業が中断することがあります。接合不良は、例えば、カブラーをプライヤーで十分に圧着していない場合や、純正カブラーより品質が劣るカブラーを使用した場合に発生することがあります。他のトラブルシューティングを行う前に、まずすべての接合を点検してください。

ワイヤーの損傷を見つけるには、非常に短いワイヤーのセクションだけが残るまで、損傷がありそうなループの間隔を段階的に半分にしていきます。

ECO モードが有効な場合は、以下の方法は使用できません。最初に必ず **ECO** モードのスイッチをオフにしてください。ECO モード 21 ページを参照してください。

1. チャージステーションのインジケータランプが青色で点滅していることを確認します。この場合、境界ループの破損を示しています。チャージステーションのインジケータランプ 37 ページを参照してください。
2. チャージステーションまでの境界ワイヤーが正しく接続されており、損傷していないことを確認します。チャージステーションのインジケータランプがまだ青色に点滅しているか確認してください。
3. チャージステーションでガイドワイヤーと境界ワイヤーの接続を切り替えます。

L および **GUIDE** の接続を切り替えて開始します。

インジケータランプが黄色に点滅する場合は、ガイドワイヤーと境界ワイヤーが接続されている地点と **L** の間のどこか (図の黒い線) で境界ワイヤーが破損しています。

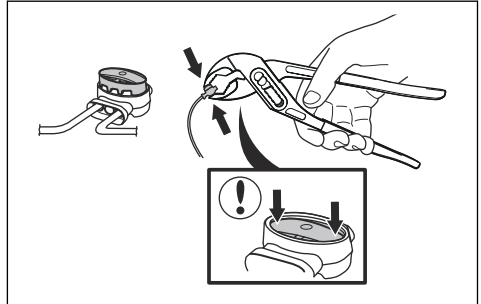
この不具合を修正するには、境界ワイヤー、コネクター、およびカブラーが必要です。

- a) 問題があると思われる境界ワイヤーが短い場合、最も簡単な方法は、ガイドワイヤーと境界ワイヤー (太い黒い線) の接続点までの間にあるすべての境界ワイヤーを交換することです。
- b) 問題があると思われる境界ワイヤーが長い場合 (太い黒い線)、次の手順を実行します。 **L** と **GUIDE** を元の位置に戻します。 **R** の接続を外します。新品のループワイヤーを **R** に接続します。この新品のループワイヤーのもう一端の問題があると思われるワイヤーセクションの中央に接続します。

インジケータランプが黄色に点滅する場合、接続を外した箇所から新しいワイヤーを接続した地点の間 (下の図の黒い太線) のどこかでワイヤーが破損しています。この場合は、接続解除した端に新しいワイヤーを近づけて (破損が疑われるワイヤーセクションのほぼ中央まで)、インジケータランプが緑色になるか再度確認します。

緑色点灯と青色点滅が切り替わるワイヤーのセクションが非常に短くなるまで、この作業を続けます。以下の手順 5 の指示に従います。

4. 上記の手順 3 でインジケータランプが青色で点滅したままの場合: **L** と **GUIDE** を元の位置に戻します。次に **R** と **GUIDE** を切り替えます。インジケータランプが緑色で点灯している場合、**L** の接続を外して、新しい境界ワイヤーを **L** に接続します。この新品のワイヤーの另一端の問題があると思われるワイヤーセクションの中央に接続します。上記の 3a) および 3b) と同じ手順に従います。
5. 破損を特定できたら、破損しているセクションを新品のワイヤーに交換します。常に純正のカブラーをお使いください。



8 搬送、保管、廃棄

8.1 搬送

同梱のリチウムイオンバッテリーは、危険物の規制に関する規則に準拠しています。

- 該当するすべての国内規制に従ってください。
- 民間の運送業者による商用輸送においては、梱包およびラベル付けに関して所定の要件に従ってください。

8.2 本製品の保管方法

- 本製品を完全に充電します。参照：バッテリーの充電 26 ページ。
- 本製品をオフにします。参照：本製品をオフにする 26 ページ。
- 製品を清掃します。参照：製品の清掃 29 ページ。
- 本製品は、乾燥した霜の降りない場所に保管してください。
- 本製品のすべての車輪が水平面に接地するように保管するか、収納フックを使用して壁に掛けてください。参照：収納フックを壁面に取り付ける場合 41 ページ。
- チャージステーションを屋内に置いておく場合は、チャージステーションから電源とすべてのコネクタを取り外します。各コネクタワイヤーの端部をコネクタ保護ボックスに入れます。

注記： チャージステーションを屋外に置いておく場合は、電源とコネクタを外さないでください。

- 本製品の保管に使用できるアクセサリについての情報は、Husqvarna サービスにお問い合わせください。

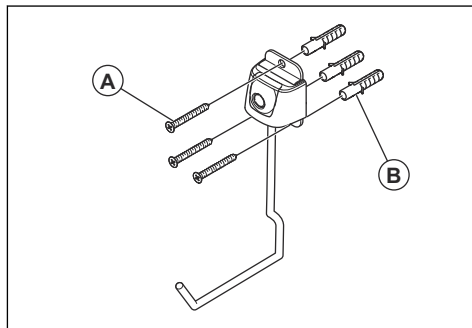
8.2.1 収納フックを壁面に取り付ける場合

- 収納フックは屋内に取り付けます。
- 収納フックを直射日光にさらさないでください。
- 収納フックは乾式壁、木製壁、コンクリート壁に取り付けます。



注意： 壁が少なくとも 30 kg の負荷を保持できることを確認してください。

- 本製品の Karton からドリルテンプレートを取り外し、壁面に収納フックを取り付ける際に使用します。
- 3 本のネジ (A) で壁面に収納フックを取り付けます。必要に応じて、ウォールプラグ (B) を使用します。



注意： ネジが壁面のタイプに適していることを確認します。

- 本製品の保管に使用できるアクセサリについての情報は、Husqvarna サービス担当者にお問い合わせください。

8.3 廃棄

- 地域のリサイクル要件および適用される法規に従ってください。



注意： バッテリーは、製品を廃棄するときのみ取り外してください。保証シールを剥がすと、ハスクバーナの保証は適用されません。

8.3.1 バッテリーの取り外し方法

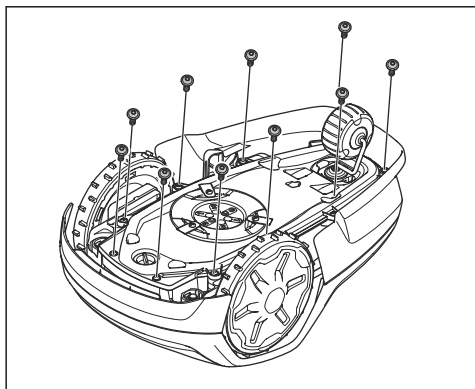


警告： 保護グローブを着用してください。



注意： 回路基板には触れないでください。

1. **ON/OFF** ボタンを 3 秒間押し、本製品のスイッチをオフにします。
2. 本製品が無効化されていることを確認します。本製品が無効化されている場合、**ON/OFF** ボタンのインジケータランプは点灯しません。参照：キーパッドの LED インジケータ 9 ページ。
3. ブレードディスクを上にして製品を置きます。
4. 10 本のネジをトルクス 20 で取り外します。

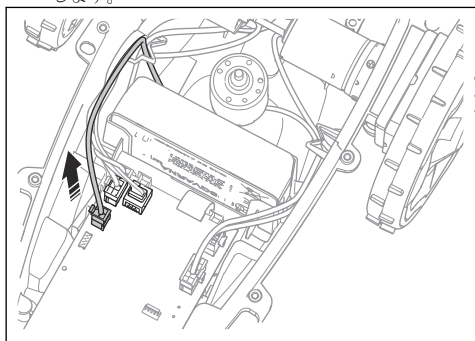


5. シャーシの下部を慎重に持ち上げて、上部シャーシに横に置きます。

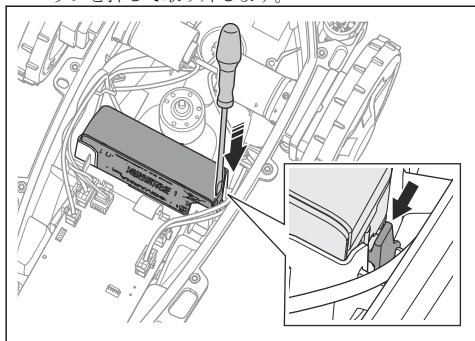


注意： ケーブルがメイン基板に接続されていることに注意してください。

6. メイン回路基板からバッテリーケーブルを取り外します。



7. ドライバーを使用し、バッテリーの両側にあるクリップを押して取り外します。



9 主要諸元

9.1 主要諸元

寸法	Automower® Aspire™ R4
長さ (cm/インチ)	55/21.7
幅 (cm/インチ)	33/13.0
高さ (cm/インチ)	22/8.7
質量、kg/ポンド	5.9/13.0

電気系統	Automower® Aspire™ R4
リチウムイオンバッテリー：18 V/2.0 Ah、品番	590 21 42-02、590 21 42-04、590 21 42-06、590 21 42-10
リチウムイオンバッテリー：18.25 V/2.0 Ah、品番	590 21 42-03
リチウムイオンバッテリー 18.5 V/2.0 Ah Art、品番	590 21 42-07、590 21 42-08、590 21 42-09、590 21 42-11
電源 (28V DC)、V AC	100/240
低電圧ケーブル長、m/フィート	5/16.4
最大使用時での平均エネルギー消費量	3 kWh/月 (作業エリア：400 m ²)
充電電流、A DC	1/1.3
電源装置のタイプ ¹⁰	ADP-28AW XX、ADP-28AR XX、ADP-40KR XX、ADP-40FW XX、FW7313/28/D/XX/Y/1.0/PI、FW7313/28/D/XX/Y/1.3、FW7313/28/D/XX/Y/1.3/PI
平均芝刈り時間、分	70
平均充電時間、分	75/60

境界ワイヤーアンテナ	Automower® Aspire™ R4
動作周波数帯、Hz	100/80000
最大磁界 ¹¹ 、dBuA/m	82
最大無線周波電力 ¹² 、mW @60m	<25

¹⁰ XX および YY は、市場分類のための英数字または空白文字です。技術的な差異はありません。

¹¹ EN 303 447 に基づいて測定。

¹² 無線装置が動作する周波数帯におけるアンテナへの最大有効出力電力です。

音響データ ¹³	Automower® Aspire™ R4
知覚騒音レベル、dB (A)	59
計測音響騒音レベル、dB (A)	58
騒音排出の不確定性 K_{WA} (dB (A))	2
使用者の耳における音圧騒音レベル ¹⁴ 、dB (A)	50

芝刈り	Automower® Aspire™ R4
面積性能、 m^2 /エーカー +/- 20%	400/0.1
カッティングシステム	ピボット付きカッティングブレード (3 枚)
カッティングモーター回転数、r/min	2670
芝刈り中の消費電力、W +/- 20 %	20
刈高、cm/インチ	2~4.5 / 0.8~1.8
刈幅、cm/インチ	16/6.3
最狭の通過可能経路、cm/インチ	60/24
作業エリアの最大角度、%	25
境界ワイヤーの最大斜度、%	10
最大長の境界ワイヤー、m/フィート	300/980
最大長のガイドループ ¹⁵ m/フィート	150/490

IP コード	Automower® Aspire™ R4
製品	IPX5
チャージステーション	IPX5
電源	IPX4/IP44

Bluetooth®	Automower® Aspire™ R4
動作周波数帯、MHz	2402~2480
最大周波電力、dBm	9

¹³ 機械指令 2006/42/EC および規格 EN 50636-2-107 に基づいて決定。ただし、ISO 11094:1991 に従って測定される知覚騒音レベルを除く。

¹⁴ 音圧騒音の不確実性 K_{pA} 、2~4 dB (A)

¹⁵ ガイドループとは、チャージワイヤーに適切に接続されたガイドワイヤーに連結した境界ワイヤーの一部とガイドワイヤーによって形成されるループです。

Wi-Fi	Automower® Aspire™ R4
対応周波数帯 ¹⁶	チャンネル 1～11 (2412～2462 MHz)
	チャンネル 12～13 (2467～2484 MHz)
	チャンネル 14
動作周波数帯、MHz	2402～2480
最大周波電力、dBm	20

ハスクバーナ AB は、リモコン、無線送信機、ヒアリングループ、地下の動物用電気柵など、他の無線システムと本製品との互換性を完全には保証していません。

本製品は英国またはチェコ共和国で製造されています。銘板の情報を参照してください。参照：はじめに 6 ページ。

9.2 登録商標

Bluetooth® マークとロゴは Bluetooth SIG, inc. が所有する登録商標です。Husqvarna は当該マークの使用に関するライセンスを取得済みです。

Wi-Fi CERTIFIED™ ロゴは Wi-Fi Alliance® の登録商標です。本製品は Wi-Fi Alliance® 認証済みです。



¹⁶ 該当する諸国ではチャンネル 12～14 のみが使用されます。

10.1 保証条件

Husqvarna の保証対象は、購入日より 2 年間の本製品の機能です。この保証は、材質または製造上の不具合に関係する重大な不具合を対象とします。保証期間内では、以下の条件を満たす場合、弊社は製品を交換するか、無料で修理します。

- 本製品とチャージステーションがこの取扱説明書の指示に従った方法でのみ使用されている。この製造元の保証は、代理店／販売店に対する保証の権利には影響しません。
- エンドユーザーまたは認証されていない第三者は製品を修理してはなりません。

保証に含まれない故障の例：

- 高圧洗浄機を使用したり、大雨で水たまりができて水浸しになったりする場合など、浸水による損傷。
- 雷による損傷。
- 不適切なバッテリー保管またはバッテリーの取り扱いによって起こった損傷。
- Husqvarna の純正バッテリー以外のバッテリーを使用したことによる損傷。
- ブレードや設置材料などの Husqvarna 純正の予備部品およびアクセサリーを使用しなかったために発生した損傷。
- ループワイヤーの損傷。
- 製品または電源に対する不認可の変更または改造による損傷。

ブレードとホイールは消耗品と見なされ、保証対象ではありません。

Husqvarna 製品にエラーが発生した場合、Husqvarna 販売店に連絡して指示を受けてください。最寄りの Husqvarna 販売店に連絡する際は、領収書と本製品の製造番号を用意してください。

11 日本市場に適用可能

11.1 コンプライアンス要件

201-220052 (Bluetooth® および Wi-Fi モジュール)。

Bluetooth® および Wi-Fi モジュールは、上部シャーシのメイン回路基板 (PCBA) にあります。これは認定されたサービス技術者のみがアクセスできます。

このロボット芝刈機に搭載された内部モジュールは次の法律に基づいて日本国内での使用が認められています：電波法 本機は、日本の電波法に適合しています。本機は改造できません。改造した場合、適合証明が無効になります。



R

201-220052



www.husqvarna.com

取扱説明書原本



1143079-79



2023-04-24